令和３年度

山口県学力定着状況確認問題

結果について

令和３年１２月

山口県教育庁義務教育課

目　　　次

Ⅰ　実施概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　　１

Ⅱ　教科の問題に関する結果　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　　２
　１　小学校
　（１）国語　・・・・・・・・・P 2
　（２）算数　・・・・・・・・・P 6
　（３）理科　・・・・・・・・・P10

　２　中学校
　（４）国語　・・・・・・・・・P14
　（５）数学　・・・・・・・・・P18
　（６）理科　・・・・・・・・・P22
　（７）英語　・・・・・・・・・P26

　３　設問別正答率一覧　・・・P30

Ⅲ　児童生徒質問紙調査の結果　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　４１

Ⅰ　実施概要

１　目　的

児童生徒の客観的な学力状況の経年的な把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図る。

２　実施期日

令和３年１０月２０日（水）※学校の状況に応じて、10/18～10/22 の期間に実施

３　実施内容

（１）実施対象等

学　年		実施人数	内　容（時　間）	
小学校	第５学年	１０，８４５人	国語、算数、理科(各 40 分)	及び質問紙
	第６学年	１０，６８９人	国語、算数(各 40 分)	及び質問紙
中学校	第１学年	１０，０４３人	国語、数学(各 45 分)	及び質問紙
	第２学年	９，９２７人	国語、数学、理科、英語(各 45 分)	及び質問紙

（２）教科の問題について

○以下の①、②による総合的な問題とし、記述式の問題を一定の割合で出題する。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした問題

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした問題

○問題は、調査実施時点までに学習していると想定される範囲とし、問題の程度は、対象学年までの学習指導要領を基準とする。

（３）質問紙について

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容を問うものとする。

【データの処理について】

〇各学年の実施人数について

・各学年の実施人数は、教科の問題及び質問紙を実施した児童生徒数の最大値を示している。

〇平均正答率の算出方法について

・各教科の平均正答率は、問題を実施した全ての児童生徒の解答結果から算出している。

・学校の教育課程上の理由等により一部の問題を実施していない児童生徒についても、全体に含めて算出している。

Ⅱ　教科の問題に関する結果

１　小学校

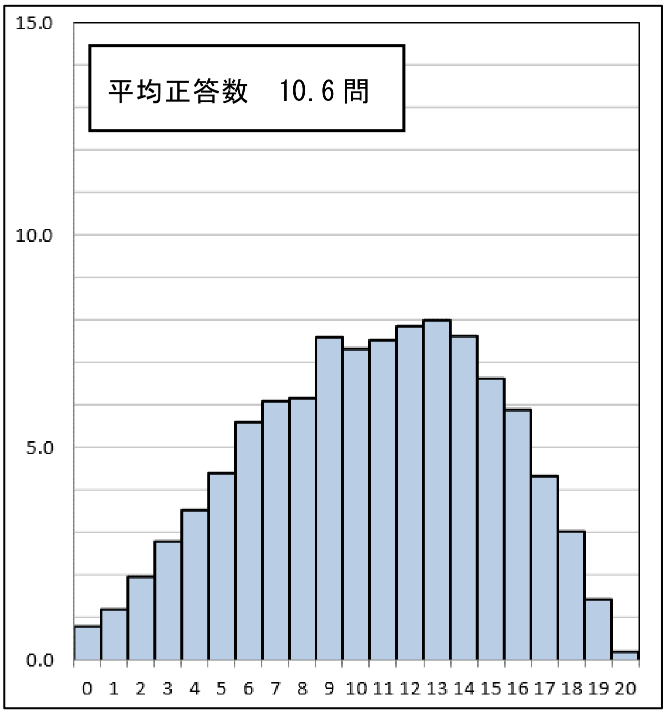
（１）国語

【第５学年】

実施児童数	10,843　人
設問数	20　問
平均正答率	52.9　%

分類	区分		対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の内容	知識及び技能		11	56.8
	思考力･判断力･表現力等	話すこと･聞くこと	2	46.6
		書くこと	5	46.8
		読むこと	2	53.0
評価の観点	知識・技能		11	56.8
	思考・判断・表現		9	48.1
問題形式	選択式		11	55.8
	短答式		6	55.7
	記述式		3	36.7

正答数分布グラフ（横軸:正答数〔問〕、縦軸:割合〔%〕）

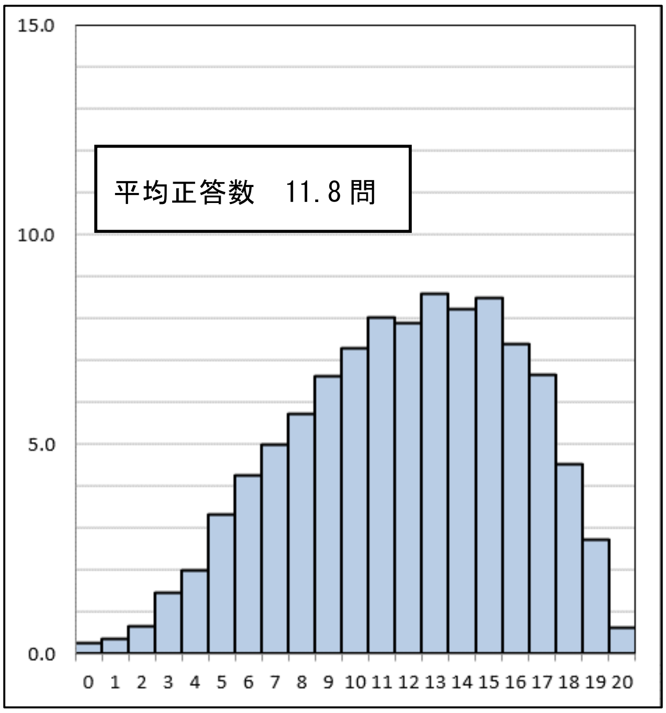


【第６学年】

実施児童数	10,689　人
設問数	20　問
平均正答率	59.1　%

分類	区分		対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の内容	知識及び技能		11	67.7
	思考力･判断力･表現力等	話すこと･聞くこと	2	65.7
		書くこと	5	42.7
		読むこと	2	46.5
評価の観点	知識・技能		11	67.7
	思考・判断・表現		9	48.6
問題形式	選択式		9	66.0
	短答式		8	61.1
	記述式		3	33.3

正答数分布グラフ（横軸:正答数〔問〕、縦軸:割合〔%〕）



【結果から見られる成果と課題】

○　学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことについて、相当数の児童ができている。

・「興味（きょうみ）」　（小６1一３：97.8%）

・「応える（こたえる）」（小６1一４：94.0%）

○　文の中における主語、述語を捉えることについて、相当数の児童ができている。

・「わたしのア　妹がイ　公園のウ　ブランコでエ　遊ぶオ。」という文の「主語」「述語」を選ぶ。（小６1三：76.0%）

Ｒ３小６ 全国調査（県平均）６９.１％

「文の中における主語と述語との関係を捉える」

●　情報を相手に分かりやすく伝えるために発表の仕方を工夫することについて、課題が見られる。

・発表のよさについて述べているものとして、最も適切なものを選ぶ。

（小５3二:26.4%）

●　目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することについて、課題が見られる。

・二つの資料に書かれていることを関連付けて書く。

（小５4三:24.2%）

Ｒ３小６ 全国調査（県平均）２６.７％

「目的を意識して，中心となる語や文を見付けて要約する」

●　文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることについて、課題が見られる。

・二つの資料から分かることを理由づけて書く。

（小６4二：20.3%）

正答率が 80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※　○は成果、●は課題を示している。

国語　成果や改善傾向の見られる問題例 【小学校５・６年生】

（小学校６年生）1三

○　文の中における主語、述語を捉えることについて、改善傾向が見られる。

次の文における「主語」と「述語」はどれですか。**ア**から**オ**までの中からそれぞれ選んで、記号で書きましょう。

わたしの	妹が	公園の	ブランコで	遊ぶ。
ア	**イ**	**ウ**	**エ**	**オ**

【正答】　主語：**イ**　述語：**オ**

正答率：７６．０％

【令和３年度全国学力・学習状況調査】　小学校６年国語　3三（２）イ　正答率　69.1%

次のイの文について、～～～部「残されています」の主語として適切なものを、あとの１から４までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

イ　時にはみんなが使っていた一輪車がかたづけられずに残されています。

1　みんなが
2　使っていた
3　一輪車が
4　かたづけられずに

【正答】　３

国語　課題の見られる問題例 【小学校５・６年生】

（小学校５年生）3二

●　情報を相手に分かりやすく伝えるための発表の仕方を工夫することについて、課題が見られる。

小野さんの発表のよさについて述べているものとして、最も適切なものを次の**ア**から**エ**までの中から一つ選んで、記号で書きましょう。

ア　聞く人がわかりやすいように、聞き手にとってむずかしいと思う言葉を説明している。
イ　聞く人に正しく伝わるように、参考にした資料の出典を明確にしている。
ウ　聞く人がわかりやすいように、アンケートの結果をもとに自分の考えを説明している。
エ　聞く人に正しく伝わるように、聞き手が理解しているかをと中で確にんしている。

【正答】　ア

正答率：２６．４％

（小学校５年生）４三

● 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することについて、課題が見られる。

中村さんは、「目立たない仕事」についてくわしく調べたいと思っていたところ、インターネットで次の**【地域の図書館のホームページ】**を見つけました。**【中村さんのノート②】**の［ ㋒ ］の部分に入る文章を、次の条件に合わせて書きましょう。

【中村さんのノート②】（一部抜粋）
図書館司書の仕事について調べて知ったこと
○ 目立たない仕事
・ 利用する人に気持ちよく読んでもらえるように、いたんだ本の修ぜんをすること。
・ ［ ㋒ ］

〈条件〉
○ 本の修ぜん以外の「目立たない仕事」を一つ取り上げること。
○ **【中村さんが調べた本の内容】**と**【地域の図書館のホームページ】**の両方にのっている仕事を取り上げ、仕事の内容とその目的がわかるように書くこと。
○ 二十字以上、四十字以内にまとめて書くこと。（以下省略）

【正答例】
利用者が探しやすいように、本の整理をすること。

正答率：２４．２％

（小学校６年生）４二

● 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることについて、課題が見られる。

【地球温暖化について書かれた文章】を読んだあと、中村さんは佐藤さんと地球温暖化について話し合っています。次の**【話し合いの様子】**と**【佐藤さんのメモ】**をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】
中村 筆者は、①の段落で「2100 年には、地球の平均気温が２度上がると予想され、わたしたちにとって最大の問題」と書いているけれど、２度上がるくらいなら大したことではないとぼくは思いますが、佐藤君はどう思いますか。
佐藤 ぼくは、地球上の気温が上がることについて調べたことをメモしたのですが、２度上がると、とてもおそろしいことになると思います。
中村 どうしてそう思うのですか。
佐藤 なぜなら、［ ㋒ ］

【話し合いの様子】の［ ㋒ ］で佐藤さんが答えようとしている内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉
○ **【地球温暖化について書かれた文章】**と**【佐藤さんのメモ】**から言葉や文を取り上げて書くこと。
○ 「なぜなら、」に続けて書き、文末もそれに合わせて書くこと。
○ 四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。（以下省略）

【正答例】
なぜなら、平均気温が２度上がると、生物へのえいきょうが心配され、生物の生きるはんいが減少すると予測されているからです。

正答率：２０．３％

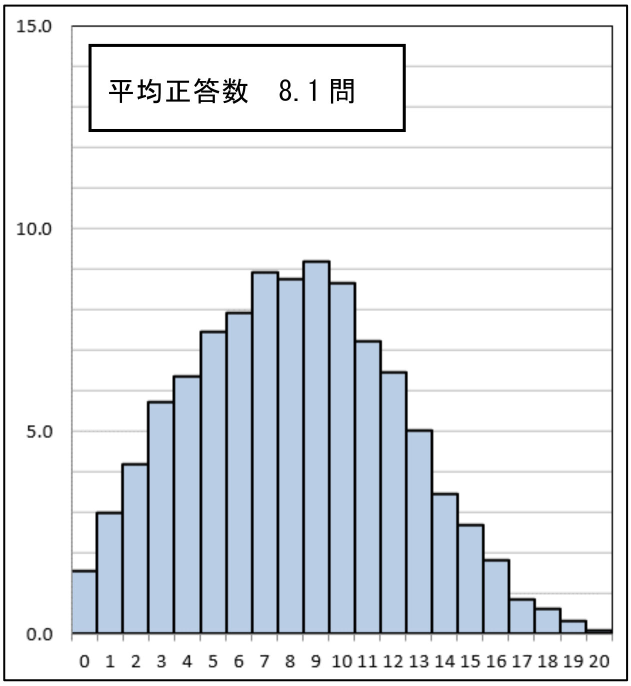
（２）算数

【第５学年】

実施児童数	10,845　人
設問数	20　問
平均正答率	40.6　％

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の領域	数と計算	9	56.9
	量と測定	5	57.7
	図形	2	30.5
	数量関係	4	52.4
評価の観点	数学的な考え方	4	43.0
	数量や図形についての技能	10	61.1
	数量や図形についての知識･理解	6	53.2
問題形式	選択式	6	49.8
	短答式	11	62.1
	記述式	3	40.0

正答数分布グラフ（横軸:正答数〔問〕、縦軸:割合〔%〕）

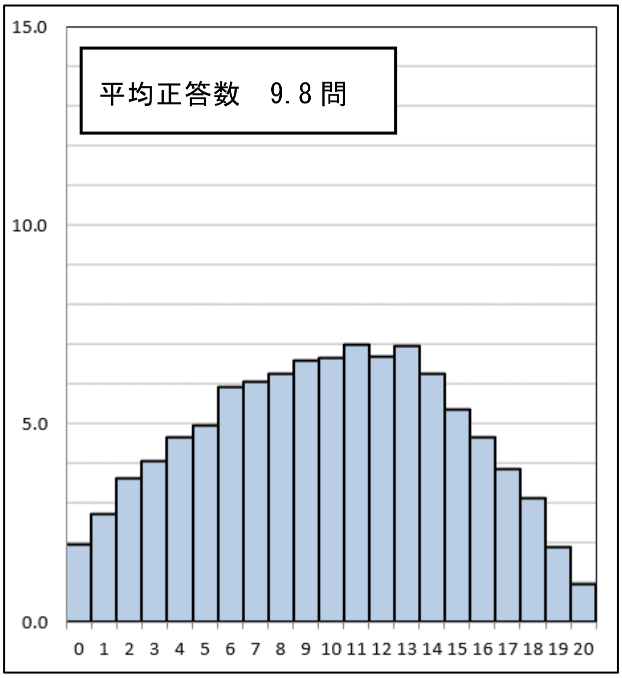


【第６学年】

実施児童数	10,675　人
設問数	20　問
平均正答率	49.2　％

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	数と計算	9	57.5
	図形	5	47.3
	変化と関係	4	27.5
	データの活用	2	60.0
評価の観点	知識・技能	10	52.1
	思考・判断・表現	10	46.3
問題形式	選択式	4	46.7
	短答式	13	50.8
	記述式	3	45.6

正答数分布グラフ（横軸:正答数〔問〕、縦軸:割合〔%〕）



【結果から見られる成果と課題】

○　基本的な四則計算の技能や数の仕組みを理解すること成果が見られる。

・乗法と減法の混合した整数の計算をすること（小５[1](3)：82.4%）

・異分母の分数の減法の計算をすること（小６[1](1)：74.2%）

○　数量関係を捉えることに成果が見られる。

・場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し計算すること（小６[2](4)：75.8%）

R３小６ 全国調査（県平均）52.5%

「商が１より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で，場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し，計算をすること」

●　小数の除法の計算技能に課題が見られる。

・小数の除法の計算をすること（小５[1](2)：35.3%、小６[1](2)：35.5%）

●　割合の内容を理解することに課題が見られる。

・比較量と割合を基にして基準量を求めること（小５[6]：49.7%）

・１に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を整理し、数直線に表すこと（小５[3](1)：43.4%）

・基準量の違いによって、同じ割合でも表す大きさが異なることに気づくこと（小６[11]：12.6%）

・速さを求めること（小６[6](2)：24.3%）

●　問題場面について情報を整理し、理由や方法等を説明することに課題が見られる。

・面積と長さの関係を理解し、たてと横の長さを求める方法を説明すること（小５[4](2)：8.6%）

・数量の関係どうしを割合で比べ、【Ｂパターン】の方がお得であると判断した理由を説明すること（小５[7](2)：23.1%）

・除法を用いて色紙の中に30個の正方形をかくことができない理由を、言葉や式を用いて説明すること（小５[13]：5.8%）

●　式の意味を理解することに課題が見られる。

・乗法の場面を、□を使った式に表すこと（小５[10]：32.6%）

R３小６４月確認問題（県平均）27.4%　「乗法の場面を、□を使った式に表すこと」

正答率が 80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※　○は成果、●は課題を示している。

算数　成果や改善傾向の見られる問題例 【小学校５・６年生】

（小学校６年生）

○　場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算することに改善傾向が見られる。

６年 2

（４）　４ｍの重さが６kgの棒があります。１ｍの重さは何kgですか。求める式と答えを書きましょう。

【正答】　式　６÷４　　答え　１．５kg

正答率：７５．８％

【令和３年度全国学力・学習状況調査】小学校６年算数　4　　正答率　52.5%

８人に、４Ｌのジュースを等しく分けます。
１人分は何Ｌですか。求める式と答えを書きましょう。

【正答】　式　４÷８　　答え　0.５Ｌ

算数　課題の見られる問題例 【小学校５・６年生】

（小学校５年生）

●乗法の場面を、□を使った式に表すことに課題が見られる。

10　４ｍで５００円のリボンがあります。リボン１ｍのねだんを□円として，リボンの長さとねだんの関係を，かけ算の式に表しましょう。

【正答例】　□×４＝５００

正答率：３２．６％

【令和３年度４月確認問題】小学校５年算数

4　子どもにおり紙を４まいずつ配ると，配ったおり紙のまい数は，全部で３６まいになりました。子どもの人数を□人として，かけ算の式に表しましょう。

【正答例】　４×□＝３６

正答率：２７．４％

（小学校５・６年生）

● 小数の除法の計算をすることに課題が見られる。

5年1　（2）１９．６ ÷ ０．３

（商を一の位まで求め，商と余りを書きましょう。）

【正答】６５あまり０．１

正答率：３５．３％

6年1　（2）３．４ ÷ ０．７

（商は整数で求め，あまりも出しましょう。）

【正答】４あまり０．６

正答率：３５．５％

（小学校５年生）

● 除法を用いて色紙の中に３０個の正方形をかくことができない理由を、言葉や式を用いて説明することに課題が見られる。

13　たてが５６ｃｍ，横が３５ｃｍの色紙があります。みおさんのクラスでは，この色紙から１辺が８ｃｍの正方形を切り取り，折りづるを折ろうとしています。みおさんのクラスは全員で３０人なので，色紙から３０個の正方形を切り取ることができるかどうかを考えています。

この色紙から１辺が８ｃｍの正方形を３０個切り取ることはできないと思います。

みおさんは，正方形をたてに何個，横に何個ならべることができるかを考え，この色紙から１辺が８ｃｍの正方形を３０個切り取ることができないことを次のように説明しています。**【みおさんの説明】**の文章に続くように，言葉と式を使って書きましょう。

【みおさんの説明】

色紙のたての長さは５６ｃｍです。正方形の１辺の長さが８ｃｍなので，

５６÷８＝７

正方形はたてに７個ならべることができます。

色紙の横の長さは

よって，この色紙から１辺が８ｃｍの正方形を３０個切り取ることはできません。

【正答】　色紙の横の長さは，３５ｃｍです。正方形の一辺の長さが８ｃｍなので、
３５÷８＝４あまり３で，正方形は横に４個ならべることができます。
よって、正方形はたてに７個，横に４個ならべることができるので、
７×４＝２８で，２８個しか切り取ることができません。

正答率：５．８％

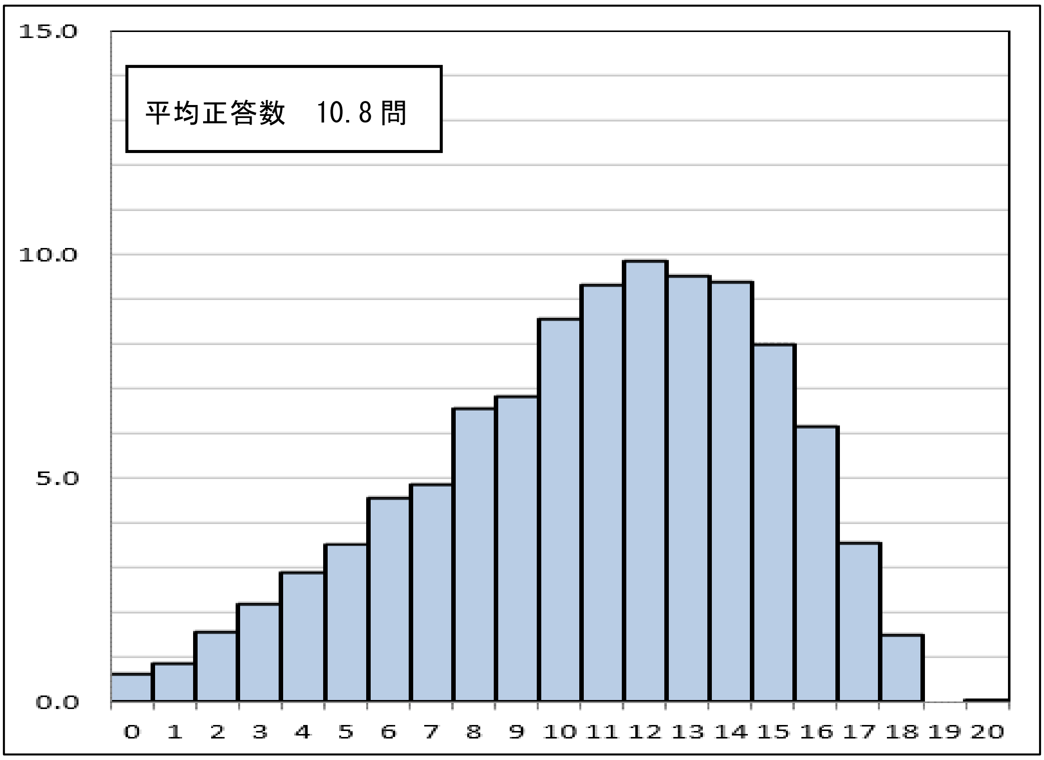
（３）理科

【第５学年】

実施児童数	10,836　人
設問数	20　問
平均正答率	60.0　％

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	エネルギー	5	45.5
	粒子	6	66.9
	生命	5	58.5
	地球	4	61.8
評価の観点	知識・技能	10	65.5
	思考・判断・表現	10	54.2
問題形式	選択式	15	61.1
	短答式	3	64.4
	記述式	2	44.9

正答数分布グラフ（横軸:正答数〔問〕、縦軸:割合〔%〕）



【結果から見られる成果と課題】

○　空気と水の性質について、体積や圧し返す力の変化に着目して、それらと圧す力とを関係付けて考えることができる。

・空気は圧すと体積が小さくなるという空気の性質について理解すること（5(1)81.8%）

○　雨水の行方と地面の様子について、流れ方に着目して地面の傾きを理解している。

・水の流れと地面の傾きの関係を理解すること（6(1)87.7%）

●　電気の回路について、電気を通す場合と通さない場合があることを理解している。

・豆電球に明かりがつかない原因として考えられることを指摘すること（2(3)29.8%）

●　日当たりについて、太陽の見た目の位置や陰のでき方とを関連付けて考えることができる。

・太陽の位置の変化や影のでき方について学んだことを他の場面に適用すること（3(1)42.4%）

●　植物の成長について、日光や肥料などと関連付けて考えることができる。

・植物がよく成長するための条件について学んだことを，他の場面に適用し，説明すること（7(2)34.7%）

Ｈ２９小５　学力定着状況確認問題３９．６％

「太陽の動きと方位を日当たりと関連付けて植物が生長する場所を選択すること」

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。 ※　○は成果、●は課題を示している。

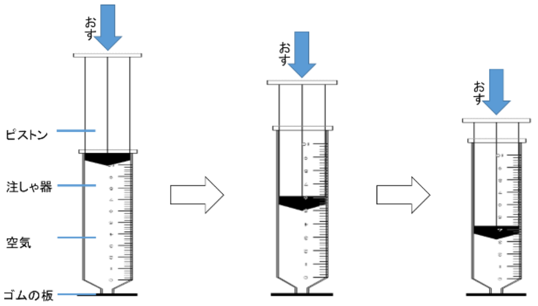
理科　成果や改善傾向の見られる問題例 【小学校５年生】

（小学校５年生）5（１）

○　空気の性質について理解することに成果が見られる。

空気の体積が小さくなるのかどうかを調べるため，風船のかわりにかたい注しゃ器を使って空気をとじこめ，空気をおしたときに体積がどのようになるのか，実験してみることにしました。結果は，下の図のようになりました。

ひろみさんは，この実験のまとめを次のように書きました。（　　　）に当てはまる言葉を答えましょう。



上から力を加えるとピストンが下がったことから，とじこめた空気をおすと，空気の体積は（　　　　　　　　）ことが分かった。

【正答】小さくなる
（または、ちぢむ）

正答率：８１．８％

【平成２９年度学力定着状況確認問題】小学校５年　理科　8　　正答率　49.1%

空気と水の押し縮められ方の違いについて理解すること

理科　課題の見られる問題例 【小学校５年生】

（小学校５年生）7（２）

●　植物がよく成長するための条件について理解して説明することに課題が見られる。

太ろうさんと花子さんは，発芽したインゲンマメを鉢に植えかえ，植物の成長に何が関係しているかを調べました。そして，次のことに気付きました。

植物がよく成長するのに，「日光」は必要な条件だったよ。

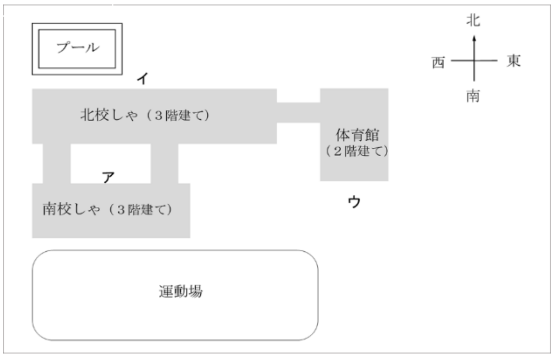
太ろうさん

「肥料（ひ）」も，よく成長するのに必要な条件だったね。

花子さん

実験の終りょう後も，鉢（はち）に植えたインゲンマメを学校の広場で，育て続けることにしました。学校には広場が３か所あります。ア，イ，ウのどの広場で育てると，最もよく育つでしょうか。その理由を太ろうさん，または花子さんの言葉をつかって説明しましょう。

学校の地図



【正答】ウ

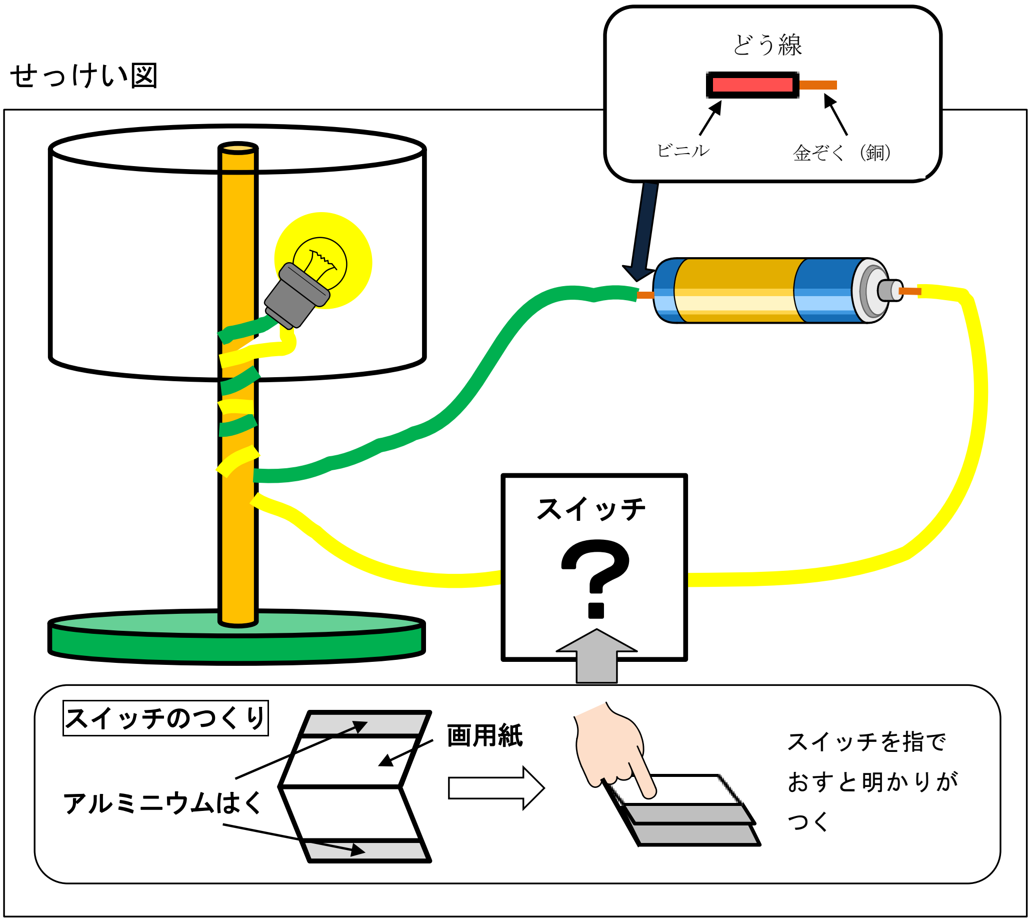
植物がよく成長するには日光が必要で、ウの場所は一日を通して一番日光が当たるから。

正答率：３４．７％

（小学校５年生）[2]（３）

● 豆電球の性質について理解することに課題が見られる。

太ろうさんたちは，次のせっけい図のように，スイッチやどう線を使って，豆電球の明かりをつけたり，消したりすることができるおもちゃを作ることにしました。



おもちゃを作り終えた太ろうさんたちは，次に作る人たちのためにスイッチの他にも豆電球に明かりがつかない原いんとして考えられることをまとめておくことにしました。

豆電球に明かりがつかない原いんとして，考えられるものはどれでしょう。次の**ア**から**エ**の中からすべて選んで，記号で答えましょう。

ア 豆電球の中のフィラメントが切れている。
イ どう線が重なっている。
ウ 豆電球がソケットに正しくはまっていない。
エ 電池の＋極と－極の向きを反対にしている。

【正答】ア、ウ

正答率：２９．８％

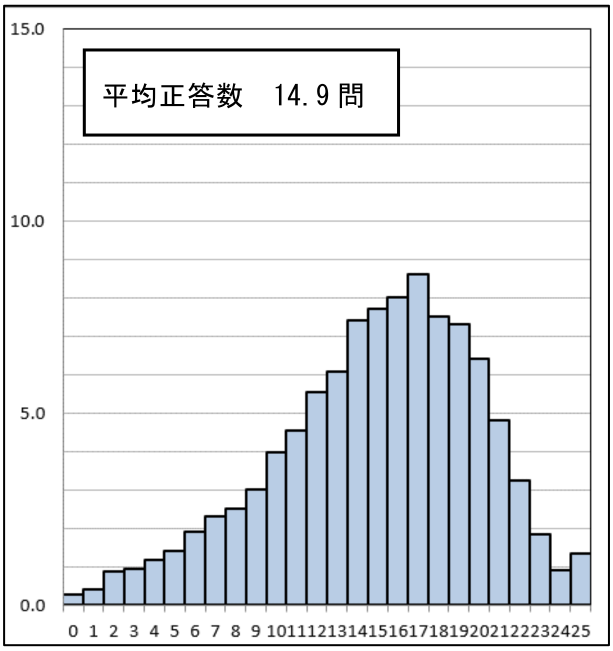
２　中学校

（４）国語

【第１学年】

実施児童数	10,043　人
設問数	25　問
平均正答率	59.7　%

正答数分布グラフ（横軸:正答数〔問〕、縦軸:割合〔%〕）

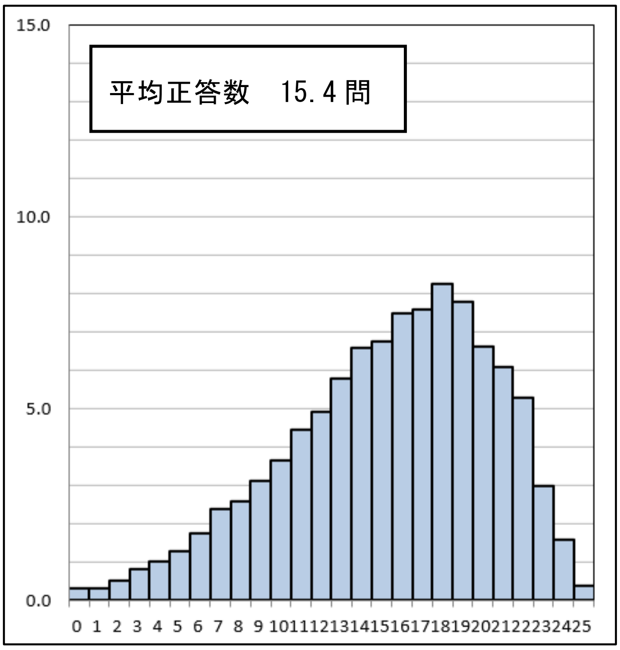


分類	区分		対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	知識及び技能		13	61.1
	思考力･判断力･表現力等	話すこと･聞くこと	4	63.0
		書くこと	2	47.0
		読むこと	6	58.6
評価の観点	知識・技能		13	61.1
	思考・判断・表現		12	58.1
問題形式	選択式		9	69.6
	短答式		13	54.9
	記述式		3	50.8

【第２学年】

実施児童数	9,922　人
設問数	25　問
平均正答率	61.5　%

正答数分布グラフ（横軸:正答数〔問〕、縦軸:割合〔%〕）



分類	区分		対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	知識及び技能		15	69.0
	思考力･判断力･表現力等	話すこと･聞くこと	2	49.8
		書くこと	3	43.3
		読むこと	5	54.6
評価の観点	知識・技能		15	69.0
	思考・判断・表現		10	50.3
問題形式	選択式		10	70.8
	短答式		11	60.4
	記述式		4	41.4

【結果から見られる成果と課題】

○　１年生において、文脈に即して、描写の内容を理解することについては、相当数の生徒ができている。（中１1一：86.1％）

○　１年生において、主述の関係に気を付け、正しい表現に直すことについては、過去の調査と比較して改善の傾向が見られる。（中１5三：74.2％）

　Ｒ３中１　４月確認問題（県平均）55.3％

　「主述の関係に気を付け、正しい表現に直す」

○　２年生において、抽象的な語句の表す内容を理解することについては、相当数の生徒ができている。（中２1一：85.3％）

○　２年生において、内容を正確に捉えて、適切な接続語を選ぶことことことについては、相当数の生徒ができている。（中２2一：84.7％）

●　１年生において、文の中における被修飾語を捉えることに課題が見られる。（中１3三：25.7％）

　Ｒ３中２　学力定着状況確認問題（県平均）74.3％

　「文の中における被修飾語を捉える」

●　２年生において、下書きの構成の工夫について考えることに課題が見られる。（中２2四：27.9％）

　Ｒ３中３　全国調査（県平均）75.5％

　「意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く」

●　２年生において、行書の特徴を理解することに課題が見られる。（中２4二：34.8％）

正答率が80％以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※　○は成果、●は課題を示している。

国語　成果や改善傾向の見られる問題例 【中学校１・２年生】

（中学校１年生） 5 三

○　主述の関係に気を付け、正しい表現に直すことについて、改善傾向が見られる。

【プレゼンテーションの場面の一部】で、田中さんの発言の①「私が提案する料理は、ほうとうという料理を提案します。」を主語と述語の関係に気を付けて、正しい表現に直しなさい。

【正答例】　私が提案する料理は、ほうとうです。

正答率：７４．２％

【令和３年度４月確認問題】中学校１年　国語　三４　　正答率　55.3%

【発表の原こう】（一部抜粋）

A大切なことは、自分にできることをしていくことが大切だと思います。

４　白石さんは、【発表の原こう】で、Aの＿＿線部と＿＿線部とがうまくつながっていないことに気が付き、この文を書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、□の中に続きを書きなさい。

大切なことは、□。

【正答例】　自分にできることをしていくことだと思います。

国語　課題の見られる問題例 【中学校１・２年生】

（中学校１年生）3 三

●　文の中における被修飾語を捉えることに課題が見られる。

3三　次の文について、「昼休みに」が修飾しているものとして、最も適切なものを、あとの１～４の中から選び、記号で答えなさい。

昨日、昼休みに図書室で本を借りた。

１　昨日　　２　図書室で　　３　本を　　４　借りた

【正答】４

正答率：２５．７％

（中学校２年生）2四

● 下書きの構成の工夫について考えることに課題が見られる。

【説明的文章の一部】を読み終えた後に、星野さんはその内容について感想文を書くことにしました。次の【感想文の下書き】を読んで、あとの問いに答えなさい。

1 私がこの文章を読んで特に印象に残ったのは、ルンバを例にした説明の部分です。あのルンバの例で、「内部からの力」と「外部からの力」のことがよりわかりやすくなりました。

2 でも、ひとつ気になったことがあります。「『やる気』とは、人間の内部に存在している力のこと」という部分は、すぐに納得できませんでした。例えば、「課題を達成した時に、何かごほうびがもらえる」という場合には、「外部からの力」によってやる気が出ると思ったからです。

3 今年の夏休みに母とある約束をしていました。「夏休み中に毎日お手伝いをすれば、欲しい物を買ってもらう」といいうものです。私はこの約束を楽しみにして、毎日お手伝いをしました。そして、欲しい服を買ってもらいました。

4 このように、私は外部の力によってやる気が出てきた経験があります。つまり、内部からの力が出てくるきっかけとして、外部からの力が働くことがあると私は感じています。

【感想文の下書き】の構成には、どのような工夫がありますか。段落どうしの関係に着目して、あなたの考えを書きなさい。その際、1、2などの段落の番号を示しながら書きなさい。

【正答例】4の結論をいうために、3で体験談を述べており、説得力が増すように書いている。

正答率：２７．９％

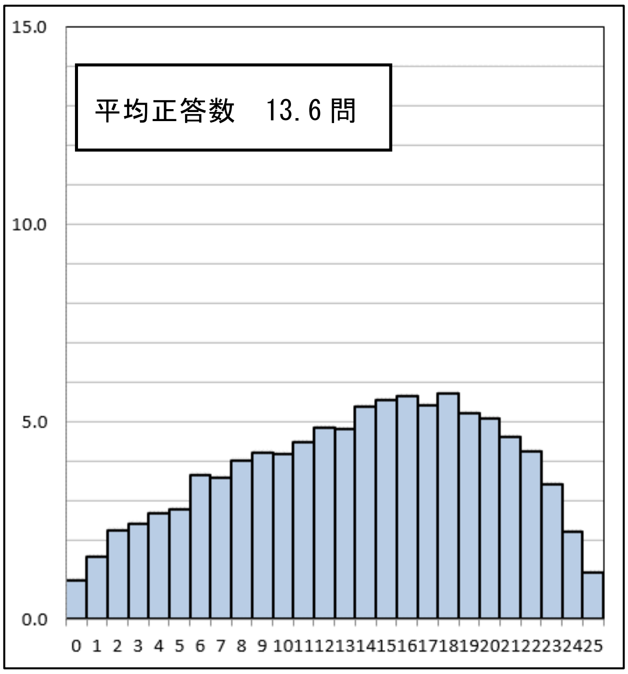
（５）数学

【第１学年】

実施児童数	9,940	人
設問数	25	問
平均正答率	54.4	%

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の領域	数と式	17	57.3
	図形	3	57.3
	関数	2	56.0
	資料の活用	3	80.4
評価の観点	数学的な見方や考え方	4	43.8
	数学的な技能	15	63.9
	数量や図形などについての知識・理解	6	50.4
問題形式	選択式	5	53.1
	短答式	17	62.7
	記述式	3	38.7

正答数分布グラフ（横軸:正答数〔問〕、縦軸:割合〔%〕）

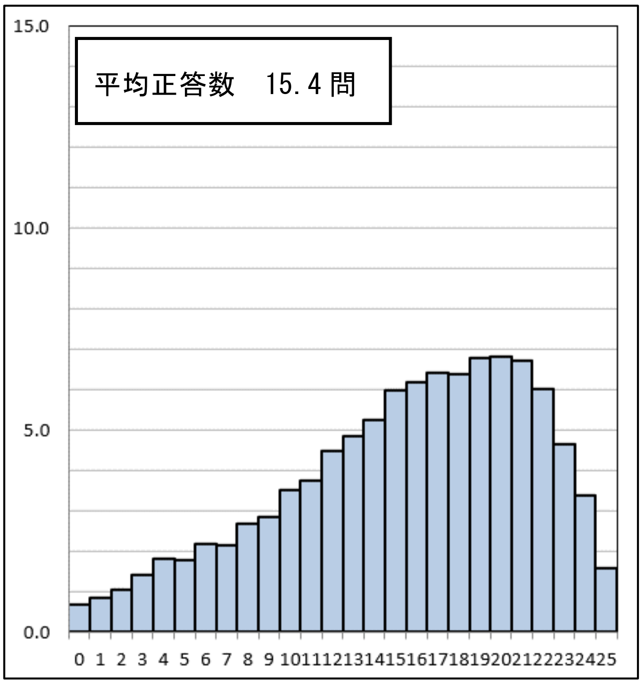


【第２学年】

実施児童数	9,927	人
設問数	25	問
平均正答率	61.7	%

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	数と式	12	67.4
	図形	6	49.4
	変化と関係	4	79.4
	データの活用	3	39.5
評価の観点	知識・技能	19	66.7
	思考・判断・表現	6	45.8
問題形式	選択式	7	62.1
	短答式	15	67.1
	記述式	3	33.5

正答数分布グラフ（横軸:正答数〔問〕、縦軸:割合〔%〕）



【結果から見られる成果と課題】

○　基本的な内容の理解に、おおむね成果が見られる。
・分数の乗法の計算をすること（中１ 1 (1)86.1%）
・計算のきまりにしたがって計算をすること（中２ 1 (2)92.9%）
・座標を理解すること（中２ 8 (1)84.9%）

○　与えられたグラフを読み取って解決することに、おおむね成果が見られる。
・比例とみなして、結論を得ること（中２ 8 (2)80.4%）

●　基本的な内容の理解に課題が見られる。
・指数を含む式の計算をすること（中１ 1 (3)39.8%）
・絶対値の意味を理解すること（中１ 1 (4)49.3%）
・整式の減法の計算をすること（中１ 2 (1)49.2%）
・四角形を対角線で三角形に分けて面積を求めること（中１ 5 (1)36.2%）
・展開図から平面の位置関係を判断すること（中１ 5 (2)41.6%）
・グラフから数量の関係を読み取ること（中１ 6 (1)43.1%）
・文字を用いて数量を表すこと（中２ 2 (3)48.0%）
・おうぎ形の面積を求めること（中２ 6 (1)43.6%）
・円柱の表面積を求めること（中２ 6 (2)30.5%）
・相対度数を求めること（中２ 9 (1)36.8%）
・文字を適切に設定すること（中２ 10 56.7%）

●　割合や比例の関係を用いて数量を求めたり式で表したりすることに課題が見られる。
・基準量を基に比較量を求めること（中１ 3 (2)44.6%）
・単位量の考え方を用いて数量の関係を考えること（中１ 4 46.8%）
・グラフから割合を読み取り、必要な数量を求めること（中１ 8 (2)45.5%）

●　問題解決の結果や方法を振り返って考察することに課題が見られる。
・事柄について、文字式を用いて表すこと（中１ 9 (3)49.5%）
・目的に応じて代表値を選択すること（中２ 9 (3)37.3%）

●　問題解決の方法を説明することや理由を説明することに課題が見られる。
・表やグラフから数量の関係を求める方法を説明すること（中１ 6 (2)21.7%）
・事象と式の対応を的確に捉え、文字式の成り立ちを説明すること（中１ 9 (2)35.2%）
・連立方程式の解の意味を理解し、解を代入して連立方程式が成り立っていることを説明すること（中２ 4 (2)42.3%）
・高さの求め方について投影図を使って説明すること（中２ 7 (2)13.8%）
・判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること（中２ 9 (2)44.4%）

正答率が 80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※　○は成果、●は課題を示している。

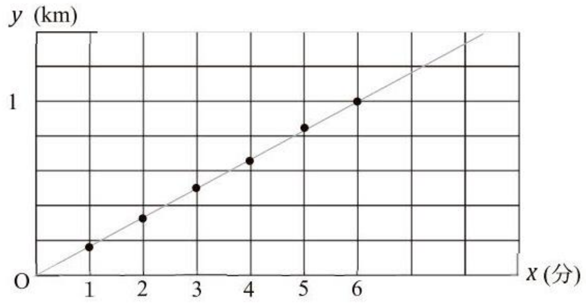
数学　成果や改善傾向の見られる問題例　【中学校１・２年生】

（中学校２年生）

○　比例とみなして結論を得ることに成果が見られる。

（2）　洋介さんは，スタートしてから 30 分間でどれくらいの距離を走ることができるかについて求めるために，次のように考えました。

【洋介さんの考え】
スタートしてからの時間と走行距離は比例していると考えると，30 分間に走った道のりを求めることができる。



【洋介さんの考え】に基づいたとき，スタートしてから 30 分間で何km走ることができるか，求めなさい。

【正答】　５　(km)

正答率：８０．４％

数学　課題の見られる問題例　【中学校１・２年生】

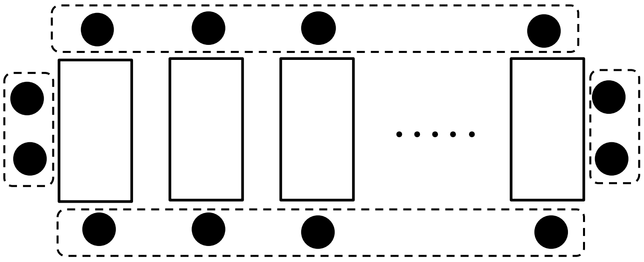
（中学校１年生）

●　事象と式の対応を的確に捉え、文字式の成り立ちを説明することに課題が見られる。

9　ゆかりさんは，文化祭の実行委員が集まる会議の会場づくりをしています。次の図１のように机を並べたときにいすが何脚必要かについて考えています。

（2）　ゆかりさんは，図１のように机を n 台並べたときにいすが何脚必要かを求めるために，図２のようにいすを囲んで考えたところ，必要ないすの数は２ n ＋４という式で表されることがわかりました。ゆかりさんの考え方が正しいことを説明するために，下の【ゆかりさんの説明】を完成させなさい。

図２



【正答例】（２）図２のように囲むと，机の上側の囲み部分のいすの数は，n 脚である。机の下側の囲み部分のいすの数も n 脚であり，上下あわせていすの数は，２n 脚になる。また，両端の机には，２脚ずついすがあるため，その両端のいすの数４脚を，２n 脚に加えると，図のように並べたときのすべてのいすの数が分かる。

正答率：（２）３５．２％

（中学校２年生）

● 文字を用いて数量を表すことに課題が見られる。

２（３） a m のリボンを５人が b m ずつ切り取ったときのリボンの残りのながさを，a，b を用いた式で表しなさい。

【正答】$a-5b$

正答率：４８．０％

（中学校２年生）

● 相対度数を求めることに課題が見られる。

９ 「子どもたちの体力が低下している」という新聞記事を見て，第一中学校の保体委員会では，体力の向上をめざして活動することにしました。そこで，第一中学校の全生徒 100 人が休日にどれだけ運動をしているかを調査をしました。

右の表１は調査結果を度数分布表で表したものです。

表１

運動時間（分）	人数（人）
0以上 ～ 20未満	30
20 ～ 40	25
40 ～ 60	32
60 ～ 80	7
80 ～ 100	2
100 ～ 120	4
計	100

（１） 20 分以上 40 分未満の階級の相対度数を求めなさい。

【正答例】0.25

正答率：（１）３６．８％

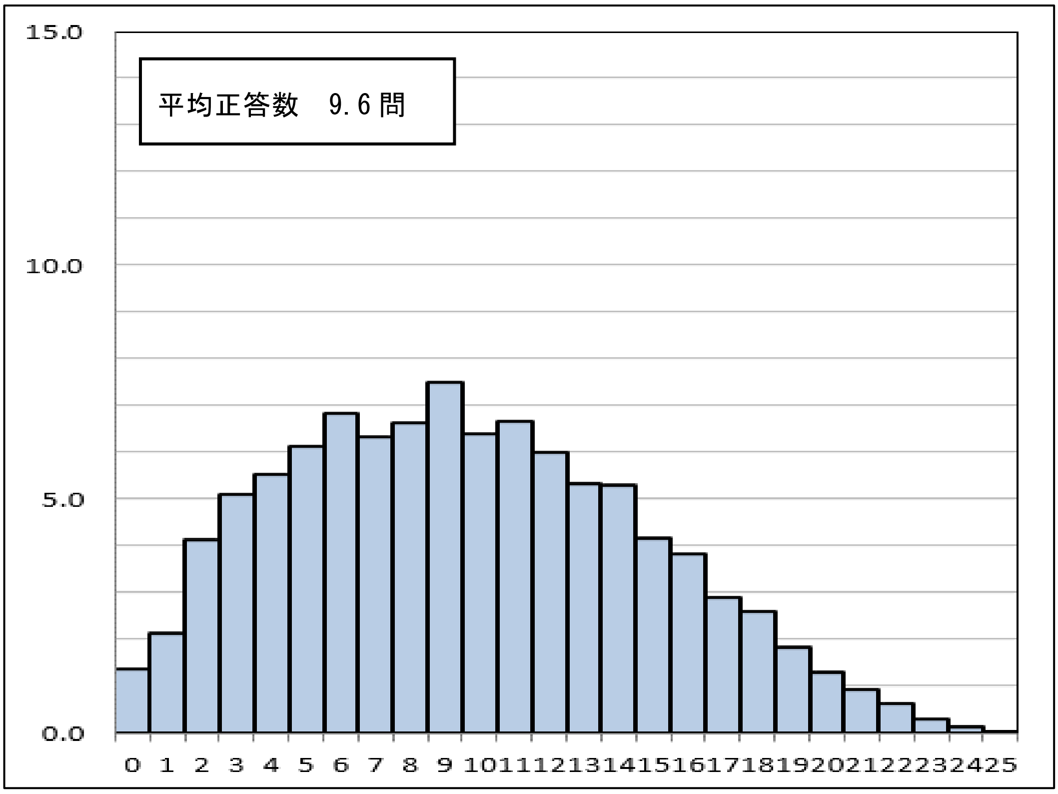
（６）理科

【第２学年】

実施児童数	9,919　人
設問数	25　問
平均正答率	38.4　％

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	エネルギー	6	34.7
	粒子	8	32.1
	生命	7	48.1
	地球	4	40.0
評価の観点	知識・技能	13	42.0
	思考・判断・表現	12	34.6
問題形式	選択式	6	40.9
	短答式	10	42.2
	記述式	9	32.7

正答数分布グラフ（横軸:正答数〔問〕、縦軸:割合〔%〕）



【結果から見られる成果と課題】

○　基本的な内容の理解に、おおむね成果が見られる。

・身のまわりの生物の中から植物を選び分類すること（5(1)73.1%）

●　日常生活の中にある身近な物理現象について、学んだ規則性や関係性から説明することに課題が見られる。

・光の性質を使って身のまわりの事象について説明すること（6(3)7.1%）

・与えられたデータやグラフを活用して身のまわりの事象を説明すること（4(2)12.7%）

●　化学変化の前後における質量変化の規則性について説明することに課題が見られる。

・化学変化の前後で質量が変化しないことの理由を原子の数から説明すること（3(2)26.1%）

・化学反応前，化学反応後の原子の数を考えること（3(2)29.6%）

●　理科の学習における基本的な用語を理解することに課題が見られる。

・物質がもとの形に戻ろうとする性質を弾性ということ（1(1)20.6%）

・地層の広がりの手がかりとなる層を鍵層ということ（2(3)20.5%）

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※　○は成果、●は課題を示している。

※中学校理科は、生徒率が80%以上のものがないため、成果として正答率が１番高いものを示している。

理科　成果や改善傾向の見られる問題例　**【中学校２年生】**

（中学校２年生）5

○　身のまわりの生物の中から植物を選び分類をすることに成果が見られる

5　生物に関する最初の授業で，身のまわりの生物を 20 種類あげ，カードに書いた。その後，生物のなかま分けについて，次の課題に対する仮説や計画を立てながら取り組んだ。次の（1）～（3）の問いに答えなさい。

【活動の場面】

先生　：ここに皆さんが発表してくれた，身のまわりの生物のカードが 20 枚あります。

サクラ	コイ	ツツジ	イヌ	ユリ
ツバメ	イルカ	ネコ	サメ	イネ
トンボ	コウモリ	カモ	ハクチョウ	カニ
カメ	イカ	ハト	マグロ	カエル

生徒Ｂ：生活している場所で分けてみよう。

陸上

サクラ	カエル	ツツジ	イヌ	ユリ
ツバメ	コウモリ	ネコ	トンボ	イネ
ハト				

水中・水上

イルカ	サメ	カモ	ハクチョウ	カニ
カメ	イカ	マグロ	コイ	

生徒Ａ：カエルは水中でも生活しているけど，陸上でいいのかな。

生徒Ｂ：大人になると陸上で生活しているから，陸上にしておくね。

生徒Ａ：私は観察中に，自ら移動した生物と，移動しなかった生物に分けてみたよ。

観察中に移動した生物

？	？	？	？
？	？	？	

観察中に移動しなかった生物

？	？
？	？

（1）　Ａさんは，下線部の活動の場面で，陸上で生活する生物として分けたものを，観察中に自ら移動した生物と移動しなかった生物に分けた。このとき，「観察中に移動しなかった生物」に選んだと予想される生物を４種類答えなさい。

【正答】　サクラ　ツツジ　ユリ　イネ

正答率　７３．１％

理科　課題の見られる問題例【中学校２年生】

（中学校２年生）6

●　光の性質を使って身のまわりの事象を説明することに課題が見られる。

6　山口さんは，南向きの窓についていたカーテンをブラインドに付け替えた。次の（1）～（3）の問いに答えなさい。

（3）　山口さんは，実験の後，新たな疑問をもったので，秋吉さんに相談をした。次の二人の会話の（　　）に入る説明を答えなさい。

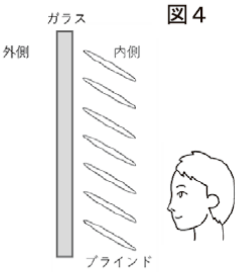
山口さん：スラットの角度を調節すると，部屋に光が差し込み，光を取り込むことができたよ。部屋に光が入っているのに，外の景色は見えないんだ。外から見られたくないけど，部屋を明るくしたいときに便利なんだ。でも，この現象を，どうやって説明したらよいのだろう。

秋吉さん：ものが見えるということは，物体の表面で反射した光が目に届くからだと学習したね。見上げるようにして，スラットのすき間を見ると，空は見えるの？

山口さん：うん。見上げるような角度にすると空は見えるけど，図４のように，まっすぐ地面に平行な目線で見ると外の景色は見えないんだ。

秋吉さん：つまり，木や建物などの物体で反射した光は（　　　　　　　　）。だから見えないんじゃないかな？

図４



【正答例】
光がスラットにはばまれ、目に届かない

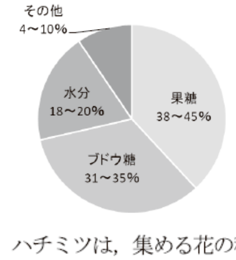
正答率：７．１％

（中学校２年生）4

●　与えられたデータやグラフを活用して身のまわりの事象を説明することに課題が見られる。

4　ハチミツは果糖とブドウ糖という糖などからできている。ハチミツ全体の質量の約80%が，この２種類の糖でしめられており，残りの約20%のほとんどが水分である。
ハチミツにふくまれる糖の量が溶解度より大きくなると，白く固まることがある。これをハチミツの「結晶化」という。
下の**図１**は，ハチミツの主な成分とその割合で，**表１**は果糖とブドウ糖の温度ごとの溶解度である。
次の（1）～（3）の問いに答えなさい。

図１　ハチミツの主な成分



温度〔℃〕	20	30	40
果糖	370	444	538
ブドウ糖	90.8	120.5	161.8

表１　果糖とブドウ糖の溶解度　〔g/水100g〕

（2）　ハチミツは，集める花の種類によって成分や性質が異なる。「レンゲ」「アカシア」という２種類の花からつくられるハチミツを比べると，同じ温度で「レンゲ」のハチミツは結晶化したのに対し，「アカシア」のハチミツは結晶化が起こらなかった。
２種類のハチミツにふくまれる水分の量が同じだとすると，同じ温度で「レンゲ」のハチミツだけが結晶化した理由を説明しなさい。

【正答例】
「レンゲ」は，「アカシア」と比べてブドウ糖が多く含まれているため。

正答率：１２．７％

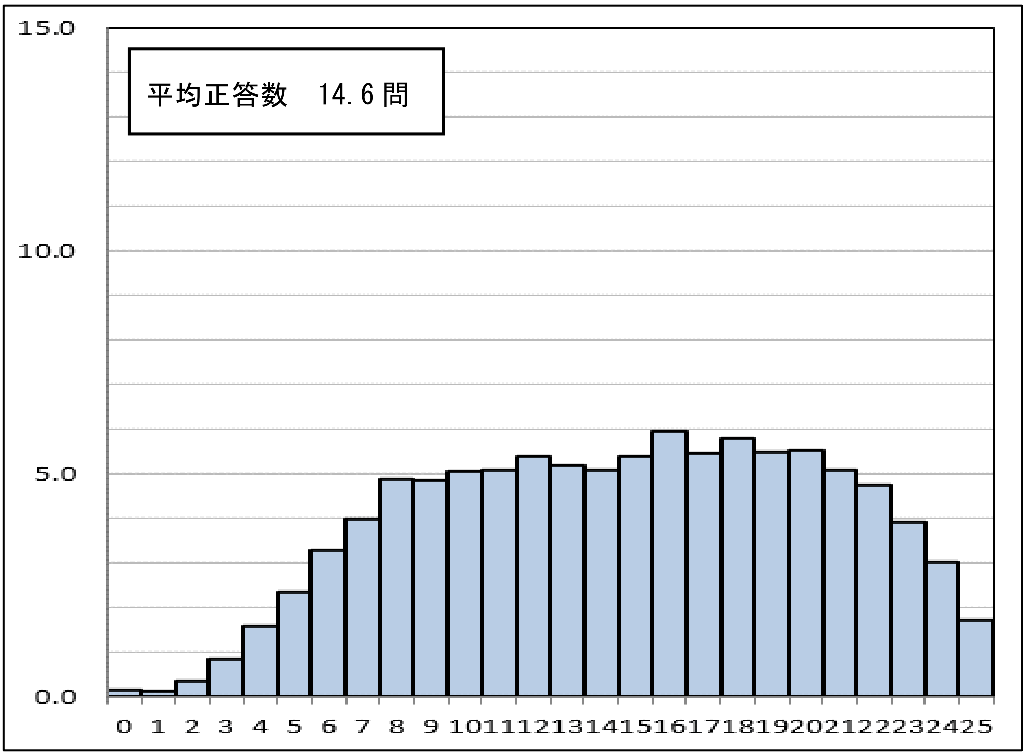
（７）英語

【第２学年】

実施児童数	9,919　人
設問数	25　問
平均正答率	58.5　％

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	聞く	10	69.7
	読む	11	55.5
	書く	4	38.6
評価の観点	知識・技能	15	59.8
	思考・判断・表現	10	56.6
問題形式	選択式	17	63.4
	短答式	2	65.3
	記述式	6	42.2

正答数分布グラフ（横軸:正答数〔問〕、縦軸:割合〔%〕）



【結果から見られる成果と課題】

○　教室内での出来事について、情報を正確に聞き取ることは、おおむね成果が見られる。
- 生徒が教室内で活動している絵を見ながら英文を聞き、適切に表現している答えを選ぶこと（1(1)95.9%）

○　まとまりのある英語を聞いて、話の概要を聞き取ることは、おおむね成果が見られる。
- 週末の出来事を表す絵を見ながら英文を聞き、内容に合うようにイラストを正しい順番に並べ替えること（3(1)92.5%）

○　聞いて把握した内容について、適切に応じることは、改善の傾向が見られる。
- 新しく来日するＡＬＴの先生のビデオメッセージを聞き、適切な応答を英文１文で書くこと（3(3)66.7%）

●　文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことに課題が見られる。
- 海外にいる生徒とのオンラインでの対話文を読み、現地時間を尋ねる英文を書くこと（5(1)49.3%）
- 海外にいる兄弟の写真を見ながらの対話文を読み、兄弟の持っている本の数を尋ねる英文を書くこと（5(2)27.4%）

●　書かれた内容に対して、質問をするために、話の内容を捉えることに課題が見られる。
- 学校を紹介するウェブサイトの英文を読み、ウェブサイトに載っている情報以外に尋ねたいことを英文１文で書くこと（7(3)32.0%）

●　日常的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、把握した内容についての質問に対して、適切に応じること（正確さ）に課題が見られる。
- ＡＬＴと生徒との対話文を読んで、冬休みの予定の一つを１５語以上の英文（２文以上も可）で書くこと（9(2)26.4%）

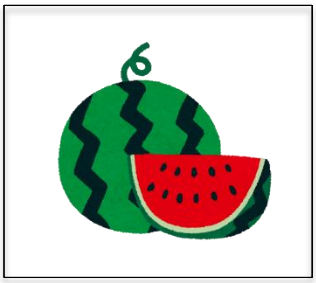
正答率が 80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※　○は成果、●は課題を示している。

英語　成果や改善傾向の見られる問題例　【中学校２年生】

○　まとまりのある英語を聞いて、話の概要を聞き取ることは、おおむね成果が見られる。

３ （１）英語の授業で，先生が次の３枚のスライドを見せながら週末の出来事を紹介しています。先生は，ア，　イ，　ウのイラストをどのような順番で見せているでしょうか。正しい順番となるように並べ替え，記号で答えなさい。


ア

イ

ウ

Hi, everyone.　Today I will talk about my last weekend.　I went to Yamaguchi beach with my family and enjoyed swimming on Saturday.　Then we ate watermelon in the afternoon.　It was very delicious. On Sunday I went fishing at the beach and got some fish.　I enjoyed my weekend.

【正答】　ウ　→　ア　→　イ

正答率：９２．５％

英語　課題の見られる問題例　【中学校２年生】

●　書かれた内容に対して、質問をするために、話の内容を捉えることに課題が見られる。

７ （３）あなたは，このハナ中学校に関する質問を英語ですることになりました。ウェブサイトに載(の)っている情報以外で聞いてみたいことを，４語以上の英文１文で書きなさい。

Welcome to *Hana Junior High School!

Our school is in *Busan city, Korea.　It's a new school. There are about 300 students and 25 teachers.　The school year *starts in March and *ends in February.　We have a long winter vacation from December to February, so we can enjoy trips during the winter vacation.　We have school lunch and eat *kimchi every day.　We have our school festival in October.　It's very popular and we enjoy it every year.

If you have any questions about our school, *send an *email to us.

（注）Hana ： ハナ（名前）　Busan ： プサン（地名）　start ： 始まる　end ： 終わる
kimchi ： キムチ　send ： ～をおくる　email ： 電子メール

【正答例】How many classes do you have every day? / Do you study Japanese?　等

正答率：３２．０％

● 文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことに課題が見られる。

5 （２）【場面】トムはケンの家にホームステイしている留学生です。２人はトムが持ってきた写真を見ながら話をしています。

Ken: Who’s this?
Tom: This is my brother, Bob.
Ken: He *looks the same as you!
Tom: People say that to me *all the time.
Ken: He has many books!
Tom: *Exactly. He likes reading.
Ken: ( )?
Tom: He has about three hundred books.

（注）look the same as ~： ～に似ている
all the time : いつも
exactly : その通り

【正答例】 How many books does he have

正答率：２７．４%

● 日常的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、把握した内容についての質問に対して、適切に応じること（正確さ）に課題が見られる。

9 あなたが冬休みの計画表に記入をしていると，ALT のジェニファー(Jenifer)先生があなたに話しかけ，次のように会話をしました。会話の流れに合うように①の英文を答えなさい。ただし，単語のみではなく，一貫性(まとまり)のある返事を考え，１５語以上の英文（２文以上になってもよい）で書きなさい。ただし，符号（. ，？！など）は，語数に含めません。

Jenifer: Oh, you are making your plans for winter vacation. What are you going to do during the winter vacation? Please *tell me one of your plans.
（注）tell me one of ~： ～の１つを私に教えて

You: O.K.
① 一貫性（まとまり）のある１５語以上の英文で返事

Jenifer: That’s nice!

【正答例】
I will go to see a movie with my friends. I want to see ～ very much.
I am going to play basketball at school. I am not a good player, so I want to practice it.
I am going to stay at home, so I want to cook dinner for my family. 等

正答率：２６．４%

令和３年度　学力定着状況確認問題　出題の趣旨一覧表

小学校第5学年　国語

分類・区分別設問数

分類	区分		対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	知識及び技能		11	56.8
	思考力･判断力･表現力等	話すこと･聞くこと	2	46.6
		書くこと	5	46.8
		読むこと	2	53.0
評価の観点	知識・技能		11	56.8
	思考・判断・表現		9	48.1
問題形式	選択式		11	55.8
	短答式		6	55.7
	記述式		3	36.7

設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			県全体正答率（%）
					知識及び技能	思考力･判断力･表現力等								
						話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1	一	①	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	3	○				○			○		84.0
1	一	②	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	3	○				○			○		6.2
1	一	③	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	4	○				○			○		56.8
1	一	④	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	4	○				○			○		82.8
1	二	⑤	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	2	○				○		○			68.3
1	三	⑥	文の中における主語、述語を捉える	2	○				○		○			64.9
1	四	⑦	ローマ字を正しく書く	3	○				○			○		46.0
1	五	⑧	慣用句の意味を理解する	4	○				○		○			52.7
2	一	⑨	目的や意図を明確にして書く	5	○				○		○			55.1
2	二	⑩	目的や意図に応じて、詳しく書く	5			○			○			○	50.5
2	三	⑪	資料を用いて、自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫する	5			○			○	○			63.2
2	四	⑫	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章に生かす	5			○			○	○			60.8
3	一	⑬	目的や意図に応じて資料を用いる	5		○				○	○			66.9
3	二	⑭	情報を相手に分かりやすく伝えるための発表の仕方を工夫する	5		○				○	○			26.4
3	三	⑮	目的に応じた話し方を理解する	4	○				○			○		58.7
3	四	⑯	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	5			○			○			○	35.3
4	一	⑰	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する	5				○		○	○			42.8
4	二	⑱	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する	5				○		○	○			63.1
4	三	⑲	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する	5			○			○			○	24.2
4	四	⑳	学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりする	3	○				○		○			49.1

令和３年度　学力定着状況確認問題　出題の趣旨一覧表

小学校第５学年　算数

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	数と計算	10	45.7
	図形	4	26.3
	変化と関係	3	49.8
	データの活用	3	33.2
評価の観点	知識・技能	14	47.0
	思考・判断・表現	6	25.5
問題形式	選択式	6	46.2
	短答式	11	45.1
	記述式	3	12.5

設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			県全体正答率（%）
					数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1	(1)	①	整数と小数の減法の計算をすることができる	4	○				○			○		58.1
	(2)	②	小数の除法の計算をすることができる	5	○				○			○		35.3
	(3)	③	乗法と減法の混合した整数の計算をすることができる	4	○				○			○		82.4
2	(1)	④	数を四捨五入して概数で表すことができる	4	○				○		○			73.8
	(2)	⑤	数量を□や△などを用いて表し，その関係を式にすることができる	4	○				○		○			35.8
3	(1)	⑥	１に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を整理し，数直線に表すことができる	5	○				○			○		43.4
	(2)	⑦	除法の性質を用いて示された式の意味を理解している	5	○					○	○			40.1
4	(1)	⑧	複合図形の面積を求めることができる	4		○			○			○		13.9
	(2)	⑨	面積と長さの関係を理解し，たてと横の長さを求めることができる	4		○				○			○	8.6
5		⑩	分度器を用いて角の大きさを測定することができる	4		○			○			○		46.5
6		⑪	比較量と割合を基にして基準量を求めることができる	5	○				○			○		49.7
7	(1)	⑫	示された場面において，比較量が基準量の何倍かを求めることができる	4			○		○			○		75.9
	(2)	⑬	数量の関係どうしを割合で比べ，【Ｂパターン】の方がお得であると判断した理由を説明することができる	4			○			○			○	23.1
8		⑭	面のつながりや位置関係に着目して，立方体の展開図の位置関係を考えることができる	4		○				○	○			36.4
9		⑮	示された複数の場面から，必要な数値を求めることができる	4			○		○			○		50.4
10		⑯	乗法の場面を，□を使った式に表すことができる	3	○				○			○		32.6
11		⑰	２つの折れ線グラフを比較し，正しい情報を読み取ることができる	4				○		○	○			39.0
12	(1)	⑱	表の中の数が表す事柄を読み取ることができる	4				○	○		○			52.3
	(2)	⑲	情報を二次元の表を使って整理し，必要な数値を求めることができる	4				○	○			○		8.2
13		⑳	除法を用いて色紙の中に30個の正方形をかくことができない理由を，言葉や式を用いて説明することができる	3	○					○			○	5.8

令和３年度　学力定着状況確認問題　出題の趣旨一覧表

小学校第５学年　理科

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	エネルギー	5	45.5
	粒子	6	66.9
	生命	5	58.5
	地球	4	61.8
評価の観点	知識・技能	10	65.5
	思考・判断・表現	10	54.2
問題形式	選択式	15	61.1
	短答式	3	64.4
	記述式	2	44.9

設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			県全体正答率（%）
					エネルギー	粒子	生命	地球	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1	(1)	①	音の大きさとものの震え方との関係について理解している	3	○				○		○			
	(2)	②	音の伝わり方について理解している	3	○					○	○			
2	(1)	③	豆電球に明かりがつかない場合のスイッチの様子を予想することができる	3	○					○	○			60.4
	(2)	④	金属という用語を理解している	3	○				○			○		46.4
	(3)	⑤	豆電球に明かりがつかない原因として考えられることを指摘することができる	3	○					○	○			29.8
3	(1)	⑥	太陽の位置の変化や影のでき方について学んだことを他の場面に適用することができる	3				○		○	○			42.4
	(2)	⑦	棒温度計の適切な使い方を理解している	3				○	○		○			60.0
4	(1)	⑧	空気の温まり方について，予想と図を関係付けて考えることができる	4		○				○	○			62.7
	(2)	⑨	空気の温まり方について，実験結果をもとに，予想と結果の一致・不一致を判断することができる	4		○				○	○			77.5
	(3)	⑩	空気の温まり方について理解している	4		○				○			○	55.2
5	(1)	⑪	空気は圧すと体積が小さくなるという空気の性質について理解している	4		○			○			○		81.8
	(2)	⑫	水は圧しても体積は変わらないという水の性質について理解している	4		○			○		○			68.6
	(3)	⑬	身の回りにある空気の性質を利用したものを見出すことができる	4		○			○		○			55.7
6	(1)	⑭	水の流れと地面の傾きの関係を理解している	4				○	○		○			87.7
	(2)	⑮	水のしみこみ方と土のつぶの大きさを関係付けて理解している	4				○		○	○			57.1
7	(1)	⑯	目的に応じて実験の条件を設定することができる	5			○		○		○			60.8
	(2)	⑰	植物がよく成長するための条件について学んだことを，他の場面に適用し，説明することができる	5			○			○			○	34.7
8	(1)	⑱	メダカのおすとめすの見分け方を理解している	5			○		○		○			63.5
	(2)	⑲	顕微鏡の正しい操作方法を理解している	5			○		○			○		65.2
	(3)	⑳	メダカの卵の成長と，インゲンマメの成長との共通点・差異点について，見い出すことができる	5			○			○	○			68.3

令和３年度　学力定着状況確認問題　出題の趣旨一覧表

小学校第６学年　国語

分類・区分別設問数

分類	区分		対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	知識及び技能		11	67.7
	思考力･判断力･表現力等	話すこと･聞くこと	2	65.7
		書くこと	5	42.7
		読むこと	2	46.5
評価の観点	知識・技能		11	67.7
	思考・判断・表現		9	48.6
問題形式	選択式		9	66.0
	短答式		8	61.1
	記述式		3	33.3

設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			県全体正答率（%）
					知識及び技能	思考力･判断力･表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
						話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと						
1	一	①	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	4	○				○			○		30.2
1	一	②	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	5	○				○			○		52.7
1	一	③	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	5	○				○			○		97.8
1	一	④	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	5	○				○			○		94.0
1	二	⑤	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	4	○				○		○			86.8
1	三	⑥	文の中における主語、述語を捉える	2	○				○		○			76.0
1	四	⑦	ローマ字を正しく書く	3	○				○			○		59.9
1	五	⑧	文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く	4	○				○			○		66.0
2	一	⑨	目的や意図を明確にして書く	5	○				○		○			64.0
2	二	⑩	資料を用いて、自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫する	5			○			○	○			55.5
2	三	⑪	目的や意図に応じて、詳しく書く	5			○			○			○	46.0
2	四	⑫	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章に生かす	5			○			○	○			58.0
3	一	⑬	目的や意図に応じて資料を用いる	5		○				○	○			69.8
3	二	⑭	情報を相手に分かりやすく伝えるための発表の仕方を工夫する	6		○				○	○			61.6
3	三	⑮	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて話す	3	○				○			○		46.9
3	四	⑯	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	5			○			○			○	33.6
4	一(1)	⑰	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係について、叙述を基に捉える	5				○		○		○		41.5
4	一(2)	⑱	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する	6				○		○	○			51.4
4	二	⑲	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる	5			○			○			○	20.3
4	三	⑳	学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べる	4	○				○		○			71.1

令和３年度　学力定着状況確認問題　出題の趣旨一覧表

小学校第6学年　算数

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	数と計算	9	57.5
	図形	5	47.3
	変化と関係	4	27.5
	データの活用	2	60.0
評価の観点	知識・技能	10	52.1
	思考・判断・表現	10	46.3
問題形式	選択式	4	46.7
	短答式	13	50.8
	記述式	3	45.6

設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			県全体正答率（%）
					数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1	(1)	①	異分母の分数の減法の計算をすることができる	5	○				○			○		74.2
	(2)	②	小数の除法の計算をすることができる	5	○				○			○		35.5
	(3)	③	分数，整数，小数の除法，乗法の計算をすることができる	6	○				○			○		66.6
2	(1)	④	小数を $\frac{1}{100}$ にした大きさを求めることができる	5	○				○			○		67.3
	(2)	⑤	計算のきまりを使って，工夫して計算することができる	4	○					○		○		46.6
	(3)	⑥	ひし形の性質を用いて角度を求めることができる	4		○				○		○		52.8
	(4)	⑦	場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し，計算することができる	4	○					○		○		75.8
3		⑧	単位量あたりの大きさを求める除法の式をよみ，商の表す意味を考えることができる	5			○			○	○			30.3
4		⑨	円に内接する正方形の対角線が円の直径と等しくなる性質に着目して求積できる	5		○				○		○		28.9
5	(1)	⑩	１にあたる大きさを求める問題場面における数量関係を理解し，数直線に表すことができる	6	○				○		○			64.9
	(2)	⑪	図をもとに，分数の除法を正しく立式することができる	6	○				○			○		40.8
6	(1)	⑫	時速を分速に置き換えることができる	5			○		○			○		42.9
	(2)	⑬	速さを求めることができる	5			○		○			○		24.3
7	(1)	⑭	直方体の体積を求めることができる	5		○			○			○		74.5
	(2)	⑮	㎤とLの関係を理解し，変換することができる	5		○			○			○		30.2
8		⑯	除法の性質を理解し，それを用いた分数の計算方法について，説明することができる	6	○					○			○	45.6
9	(1)	⑰	グラフの意味を理解し，そこから分かることを読み取ることができる	3･5				○		○			○	78.7
	(2)	⑱	それぞれのグラフが表す事柄を読み取ることができる	3･5				○		○	○			41.3
10		⑲	三角形の面積について理解し，同じ面積になる形を見つけることができる	5		○				○	○			50.2
11		⑳	基準量の違いによって，同じ割合でも表す大きさが異なることに気づくことができる	5			○			○			○	12.6

令和３年度　学力定着状況確認問題　出題の趣旨一覧表

中学校第１学年　国語

分類・区分別設問数

分類	区分		対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	知識及び技能		13	61.1
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	4	63.0
		書くこと	2	47.0
		読むこと	6	58.6
評価の観点	知識・技能		13	61.1
	思考・判断・表現		12	58.1
問題形式	選択式		9	69.6
	短答式		13	54.9
	記述式		3	50.8

設問別集計結果

設問番号				出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			県全体正答率（%）
						知識及び技能	思考力・判断力・表現力等 話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1	一		①	文脈に即して、描写の内容を理解する	1				○		○		○		86.1
1	二		②	文脈に即して、表現技法の効果を理解する	1				○		○	○			70.5
1	三		③	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する	1				○		○		○		45.2
1	四		④	文章中から必要なことを引用し、自分の考えを簡潔に書く	1			○			○			○	64.1
2	一		⑤	内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す	1	○				○			○		41.9
2	二		⑥	内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す	1				○		○		○		32.1
2	三		⑦	文章の書かれ方を捉え、その特徴をつかむ	1				○		○	○			77.1
2	四		⑧	目的に応じて、根拠を明確にして書く	1			○			○			○	29.8
3	一	（1）	⑨	文脈に即して正しく漢字を書く（預ける）	小6	○				○			○		42.0
3	一	（2）	⑩	文脈に即して正しく漢字を書く（貸す）	小5	○				○			○		55.8
3	一	（3）	⑪	文脈に即して正しく漢字を書く（専用）	小6	○				○			○		54.8
3	一	（4）	⑫	文脈に即して正しく漢字を読む（関心）	小4	○				○			○		42.9
3	一	（5）	⑬	文脈に即して正しく漢字を読む（のぞむ）	小6	○				○			○		57.0
3	一	（6）	⑭	文脈に即して正しく漢字を読む（しゅうえき）	小6	○				○			○		83.1
3	二		⑮	時と場に応じて、適切な敬語を使う（尊敬語　おっしゃる）	小56	○				○		○			84.0
3	三		⑯	文の中における被修飾語を捉える	小34	○				○		○			25.7
3	四	A	⑰	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う（慣用句　虫の知らせ）	小56	○				○		○			72.0
3	四	B	⑱	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う（ことわざ　あぶはち取らず）	小34	○				○		○			83.5
4	一		⑲	文脈に即して、俳句に使われている特徴的な表現を捉える（のたり）	1				○		○		○		40.6
4	二		⑳	俳句の季語から季節を理解し、適切なものを選択する	小56	○				○		○			77.4
5	一		㉑	司会の果たす役割や進め方を理解する	小34		○				○	○			65.5
5	二		㉒	内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す	1		○				○		○		57.4
5	三		㉓	主述の関係に気を付け、正しい表現に直す	小34	○				○			○		74.2
5	四		㉔	内容を的確に捉え、資料として適切なものを選ぶ	小56		○				○	○			70.6
5	五		㉕	理由を明確にして自分の考えをもち、話し合いをする	1		○				○			○	58.4

令和３年度　学力定着状況確認問題　出題の趣旨一覧表

中学校第１学年　数学

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	数と計算	18	57.3
	図形	2	38.9
	変化と関係	2	32.4
	データの活用	3	62.5
評価の観点	知識・技能	23	56.7
	思考・判断・表現	2	28.5
問題形式	選択式	5	60.0
	短答式	17	57.0
	記述式	3	30.6

設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			県全体正答率（%）
					数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1	(1)	①	分数の乗法の計算ができる	小6	○				○			○		86.1
	(2)	②	計算のきまりにしたがって計算することができる	小4	○				○			○		64.8
	(3)	③	指数を含む式の計算をすることができる	1	○				○			○		39.8
	(4)	④	絶対値の意味を理解している	1	○				○			○		49.3
	(5)	⑤	正の数と負の数の意味を，実生活の場面に結び付けて理解している	1	○				○			○		50.7
	(6)	⑥	数の集合と四則計算の可能性について理解している	1	○				○		○			70.2
2	(1)	⑦	整式の減法の計算ができる	1	○				○			○		49.2
	(2)	⑧	条件にあう公倍数を求めることができる	小5	○				○			○		64.1
	(3)	⑨	速さ，時間，道のりの関係から，時間を求めることができる	小5	○				○			○		63.1
3	(1)	⑩	数量の関係を等式で表すことができる	1	○				○			○		76.7
	(2)	⑪	基準量を基に比較量を求めることができる	1	○				○			○		44.6
	(3)	⑫	不等式の関係を，具体的な事象に関連付けて解釈することができる	1	○				○		○			65.4
4		⑬	単位量の考え方を用いて数量の関係を考えることができる	小5	○				○		○			46.8
5	(1)	⑭	四角形を対角線で三角形に分けての面積を求めることができる	小5		○			○			○		36.2
	(2)	⑮	展開図から平面の位置関係を判断することができる	小4		○			○		○			41.6
6	(1)	⑯	グラフから数量の関係を読み取ることができる	小6			○		○			○		43.1
	(2)	⑰	表やグラフから数量の関係を求める方法を説明することができる	小6			○			○			○	21.7
7	(1)	⑱	平均を求めるために用いる値を文脈から読み取ることができる	1	○				○			○		63.0
	(2)	⑲	平均を求める方法を式で表現することができる	1	○				○				○	34.8
8	(1)	⑳	組み合わせをもれなく求めることができる	小6				○	○			○		66.1
	(2)	㉑	グラフから割合を読み取り，必要な数量を求めることができる	小5				○	○			○		45.5
	(3)	㉒	グラフから資料の特徴を読み取ることができる	小6				○	○		○			75.9
9	(1)	㉓	問題場面における数量の関係を捉えることができる	1	○				○			○		77.6
	(2)	㉔	事象と式の対応を的確に捉え，文字式の成り立ちを説明することができる	1	○					○			○	35.2
	(3)	㉕	事柄について，文字式を用いて表すことができる	1	○				○			○		49.5

令和３年度　学力定着状況確認問題　出題の趣旨一覧表

中学校第２学年　国語

分類・区分別設問数

分類	区分		対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	知識及び技能		15	69.0
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	2	49.8
		書くこと	3	43.3
		読むこと	5	54.6
評価の観点	知識・技能		15	69.0
	思考・判断・表現		10	50.3
問題形式	選択式		10	70.8
	短答式		11	60.4
	記述式		4	41.4

設問別集計結果

設問番号				出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容：知識及び技能	思考力・判断力・表現力等：話すこと・聞くこと	思考力・判断力・表現力等：書くこと	思考力・判断力・表現力等：読むこと	評価の観点：知識・技能	評価の観点：思考・判断・表現	問題形式：選択式	問題形式：短答式	問題形式：記述式	県全体正答率（%）
1	一		①	抽象的な語句の表す内容を理解すること	1	○				○		○			85.3
1	二		②	文の中における被修飾語を捉える	小34	○				○		○			74.3
1	三		③	文脈に即して、表現の意図や効果について理解する	2				○		○		○		32.8
1	四		④	文章の内容をふまえ適切な表現について判断し、簡潔に理由を書く	1			○			○			○	59.6
2	一		⑤	内容を正確に捉えて、適切な接続語を選ぶ	小34	○				○		○			84.7
2	二		⑥	内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す	2				○		○		○		48.6
2	三		⑦	文章の書かれ方に着目して、内容の中心となる事柄を捉える	2				○		○	○			83.8
2	四		⑧	下書きの構成の工夫について考える	2			○			○			○	27.9
3	一	①	⑨	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに書き直す（やしなひて）	1	○				○			○		61.0
3	一	②	⑩	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに書き直す（いはく）	1	○				○			○		87.6
3	二	(1)	⑪	会話文を参考に、作品の文脈を読み取る	2				○		○			○	35.6
3	二	(2)	⑫	会話文を参考に、作品の文脈を読み取る	2				○		○		○		72.5
3	二	(3)	⑬	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う（故事成語　朝三暮四）	小34	○				○		○			83.9
4	一	(1)	⑭	文脈に即して漢字を正しく書く（営む）	小5	○				○			○		78.2
4	一	(2)	⑮	文脈に即して漢字を正しく書く（歓迎）	1	○				○			○		30.5
4	一	(3)	⑯	文脈に即して漢字を正しく読む（うながす）	1	○				○			○		45.3
4	一	(4)	⑰	文脈に即して漢字を正しく読む（けはい）	小3	○				○			○		95.6
4	二		⑱	行書の特徴を理解する（草）	2	○				○		○			34.8
4	三		⑲	文の中における主語を捉える	小34	○				○		○			69.5
4	四		⑳	文節相互の関係について理解している	2	○				○		○			67.1
5	一		㉑	相手を意識して、適切な敬語表現を用いる	2	○				○			○		63.7
5	二		㉒	知りたいことを明らかにし、話の流れの中で質問する	2		○				○	○			51.0
5	三		㉓	内容を正確に捉えて、該当するものを選ぶ	2	○				○		○			73.1
5	四		㉔	知りたいことを明らかにし、話の流れの中で質問する	1		○				○		○		48.5
5	五		㉕	条件に照らして、目的や相手を意識した表現をする	2			○			○			○	42.5

令和３年度　学力定着状況確認問題　出題の趣旨一覧表

中学校第２学年　数学

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	数と式	12	67.4
	図形	6	49.4
	変化と関係	4	79.4
	データの活用	3	39.5
評価の観点	知識・技能	19	66.7
	思考・判断・表現	6	45.8
問題形式	選択式	7	62.1
	短答式	15	67.1
	記述式	3	33.5

設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			県全体正答率（%）
					数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1	(1)	①	分数の乗法の計算ができる	1	○				○			○		78.7
	(2)	②	計算のきまりにしたがって計算することができる	1	○				○			○		92.9
	(3)	③	指数を含む式の計算ができる	1	○				○			○		77.6
	(4)	④	数の集合と四則計算の可能性について理解している	1	○				○		○			66.8
2	(1)	⑤	多項式どうしの減法の計算ができる	2	○				○			○		74.8
	(2)	⑥	一次方程式を解くことができる	1	○				○			○		76.6
	(3)	⑦	文字を用いて数量を表すことができる	2	○				○			○		48.0
	(4)	⑧	等式を目的に応じて変形することができる	2	○				○			○		70.2
	(5)	⑨	文字式が表している意味を読み取ることができる	2	○				○		○			57.7
3	(1)	⑩	比例の表の特徴を理解している	1			○		○			○		75.5
	(2)	⑪	反比例のグラフの特徴を理解している	1			○		○		○			76.9
4	(1)	⑫	連立方程式を解くことができる	2	○				○			○		66.7
	(2)	⑬	連立方程式の解の意味を理解し，解を代入して連立方程式が成り立っていることを説明することができる	2	○					○			○	42.3
5		⑭	垂線の性質を理解している	1		○			○		○			54.5
6	(1)	⑮	おうぎ形の面積を求めることができる	1		○			○			○		43.6
	(2)	⑯	円柱の表面積を求めることができる	1		○			○			○		30.5
	(3)	⑰	対称移動をした図をかくことができる	1		○			○			○		76.2
7	(1)	⑱	直方体の体積を求めることができる	小6 1		○			○			○		78.0
	(2)	⑲	高さの求め方について投影図を使って説明することができる	1		○				○			○	13.8
8	(1)	⑳	座標を理解している	1			○		○		○			84.9
	(2)	㉑	比例とみなして，結論を得ることができる	1			○			○		○		80.4
9	(1)	㉒	相対度数を求めることができる	1				○	○			○		36.8
	(2)	㉓	判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	小6 1				○		○			○	44.4
	(3)	㉔	目的に応じて代表値を選択することができる	小6 1				○		○	○			37.3
10		㉕	文字を適切に設定することができる	2	○					○	○			56.7

令和３年度　学力定着状況確認問題　出題の趣旨一覧表

中学校第２学年　理科

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	エネルギー	6	34.7
	粒子	8	32.1
	生命	7	48.1
	地球	4	40.0
評価の観点	知識・技能	13	42.0
	思考・判断・表現	12	34.6
問題形式	選択式	6	40.9
	短答式	10	42.2
	記述式	9	32.7

設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			県全体正答率（%）
					エネルギー	粒子	生命	地球	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1	（１）	①	物質がもとの形に戻ろうとする性質を弾性ということを理解している	1	○				○			○		20.6
1	（２）	②	表をもとに，比例のグラフをかくことができる	1	○				○				○	53.6
1	（３）	③	比例の関係を用いて，物体に働く力の大きさとその物体の重さを導くことができる	1	○					○	○			41.4
2	（１）	④	れきが流れる水のはたらきで丸みを帯びる理由を説明できる	1				○	○				○	49.6
2	（２）	⑤	２か所の露頭の観察結果を空間的にとらえ，地層の傾きを読み取ることができる	1				○		○	○			31.4
2	（３）	⑥	地層の広がりの手がかりとなる層をかぎ層ということを理解している	1				○	○			○		20.5
2	（４）	⑦	地層の堆積と断層の形成を時間的なつながりでとらえ，過去の出来事を推定することができる	1				○		○	○			58.4
3	(1)	⑧	質量保存の法則の実験を計画することができる	2		○				○			○	55.5
3	(2)①	⑨	化学反応前，化学反応後の原子の数を考えることができる	2		○			○			○		29.6
3	(2)②	⑩	化学変化の前後で質量が変化しない理由を原子の数から説明ができる	2		○				○			○	26.1
3	(3)	⑪	木炭の燃焼において，質量の変化について考えることができる	2		○				○	○			53.9
3	(4)	⑫	銅の酸化において，質量の変化について考えることができる	2		○				○	○			31.9
4	(1)	⑬	溶解度の違いから結晶化する物質を考えることができる	1		○			○		○			28.2
4	(2)	⑭	２種類のハチミツの結晶化の有無から，多く含まれている糖類を考えることができる	1		○				○			○	12.7
4	(3)	⑮	温度を上げると結晶化していない状態に戻るをことを説明できる	1		○				○			○	18.8
5	(1)	⑯	生物の中から植物を分類することができる	1			○		○			○		73.1
5	(2)	⑰	動物の体のつくりの共通点や相違点を理解している	1			○		○			○		57.2
5	(3)	⑱	動物の体のつくりの共通点や相違点に基づいて分類できる	1			○			○		○		43.5
6	(1)	⑲	基本的な光の性質を理解している	1	○				○			○		31.0
6	(2)	⑳	身近な物理現象について理解している	1	○				○			○		54.6
6	(3)	㉑	身近な物理現象を，日常生活と関連付けて考えることができる	1	○					○			○	7.1
7	(1)	㉒	消化液に含まれ，決まった物質を分解するものの名称を理解している	2			○		○			○		58.9
7	(2)	㉓	デンプン・糖の有無を確かめる各指示薬の反応のようすや，その名称を理解している	2			○		○			○		33.2
7	(3)	㉔	対照実験を行う理由を理解している	2			○		○				○	36.7
7	(4)	㉕	実験結果で示された，複数の指示薬の変化から見取ることができる事象を，総合的に分析して解釈し，デンプンに対する胃腸薬の働きについて説明することができる	2			○			○			○	33.9

中学校第２学年　英語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	聞く	10	69.7
	読む	11	55.5
	書く	4	38.6
評価の観点	知識・技能	15	59.8
	思考・判断・表現	10	56.6
問題形式	選択式	17	63.4
	短答式	2	65.3
	記述式	6	42.2

設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			県全体正答率（%）
					聞く	読む	書く		知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1	(1)	①	教室英語を理解して，情報を正確に聞き取ることができる	1	○				○		○			95.9
1	(2)	②	日常的な話題について，情報を正確に聞き取ることができる	2	○				○		○			74.9
1	(3)	③	日常的な話題について，情報を正確に聞き取ることができる	1	○				○		○			71.3
2	(1)	④	日常的な話題について，適切に応じることができる	1	○				○		○			78.3
2	(2)	⑤	日常的な話題について，適切に応じることができる	1	○				○		○			47.7
2	(3)	⑥	日常的な話題について，適切に応じることができる	2	○				○		○			52.2
2	(4)	⑦	まとまりのある英語を聞いて，必要な情報を聞き取ることができる	1	○					○	○			42.9
3	(1)	⑧	まとまりのある英語を聞いて，話の概要を聞き取ることができる	1	○					○	○			92.5
3	(2)	⑨	まとまりのある英語を聞いて，話の要点を聞き取ることができる	2	○					○	○			74.6
3	(3)	⑩	聞いて把握した内容について，適切に応じることができる	1	○				○				○	66.7
4	(1)	⑪	基本的な語や文法事項を理解して，会話の中で適切に使うことができる	2		○			○		○			72.3
4	(2)	⑫	基本的な語や文法事項を理解して，会話の中で適切に使うことができる	2		○			○		○			51.5
5	(1)	⑬	文脈に合うように，内容を考えて，基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる	1			○		○				○	49.3
5	(2)	⑭	文脈に合うように，内容を考えて，基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる	1			○		○				○	27.4
6	(1)	⑮	グラフに示された内容に関する英文を読んで，正確に読み取ることができる	2		○			○		○			69.5
6	(2)	⑯	英語のレポートを読んで，グラフに示された内容から必要な情報を読み取り，英語で書くことができる	2		○				○		○		63.0
6	(3)	⑰	英語のレポートを読んで，概要を理解することができる	2		○				○	○			34.5
7	(1)	⑱	まとまりのある英語を読んで，把握した内容についての質問に対して，適切に応じることができる	2		○			○		○			53.2
7	(2)	⑲	まとまりのある英語を読んで，必要な情報を読み取ることができる	2		○				○		○		67.7
7	(3)	⑳	書かれた内容に対して，質問をするために，話の内容を捉えることができる	2		○				○			○	32.0
8	(1)	㉑	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで，話の要点を理解することができる	2		○				○	○			64.5
8	(2)	㉒	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで，情報を正確に読み取ることができる	2		○			○		○			59.6
8	(3)	㉓	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで，必要な情報を理解することができる	2		○				○	○			42.5
9	(1)	㉔	日常的な話題に関するまとまりのある英語を読んで，把握した内容についての質問に対して，適切に応じることができる（適切さ）	2			○			○			○	51.2
9	(2)	㉕	日常的な話題に関するまとまりのある英語を読んで，把握した内容についての質問に対して，適切に応じることができる（正確さ）	2			○		○				○	26.4

Ⅲ　児童生徒質問紙調査の結果

質問番号	質問項目	令和元年度の調査との比較		同一の児童生徒集団で比較	
		小５・６	中１・２	現小６	現中１・２
1	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	○	○	○	○
2	読書は好きですか。	※1	※1	－	○
3	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	○	○	○	○
4	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	○	○	○	○
5	新あなたは学校で、コンピューターなどのＩＣＴ機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。	※2	※2	－	○ ※2
6	新やまぐちっ子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか	※2	※2	－	－
7	授業の中で、授業の目標（めあて・ねらい）が示されていると思う。	○	○	○	○
8	新学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う。	※2	※2	－	○ ※2
9	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。	○	○	○	○
10	新授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。	※2	※2	－	○ ※2
11.	授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う。	○	○	○	○
12	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。	○	○	○	○
13	新総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。	※2	※2	－	○ ※2
14	国語の勉強が好きだ。	※3	※3	○	○
15	算数の勉強が好きだ。（小）数学の勉強が好きだ。（中）	※3	※3	○	○
16	社会の勉強が好きだ。	※3	※3	－	－
17	理科の勉強が好きだ。	※3	※3	－	－
18	英語の勉強が好きだ。	※3	※3	－	－
19	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます。）	○	○	○	○

※１　例年、春の全国学力・学習状況調査のみで実施している質問項目（小学校５年生、中学校１・２年生の実施がない質問項目）であり、今年度調査の結果を示しています。

※２　今年度新たに加えた項目のため、今年度調査の結果を示しています。令和３年度の全国学力・学習状況調査で実施された項目については、同一の児童生徒集団での比較を行っています。

※３　例年、今年度調査の結果を示しています。

Ⅲ　児童生徒質問紙調査の結果　（○：成果　△：一部成果　●：課題）

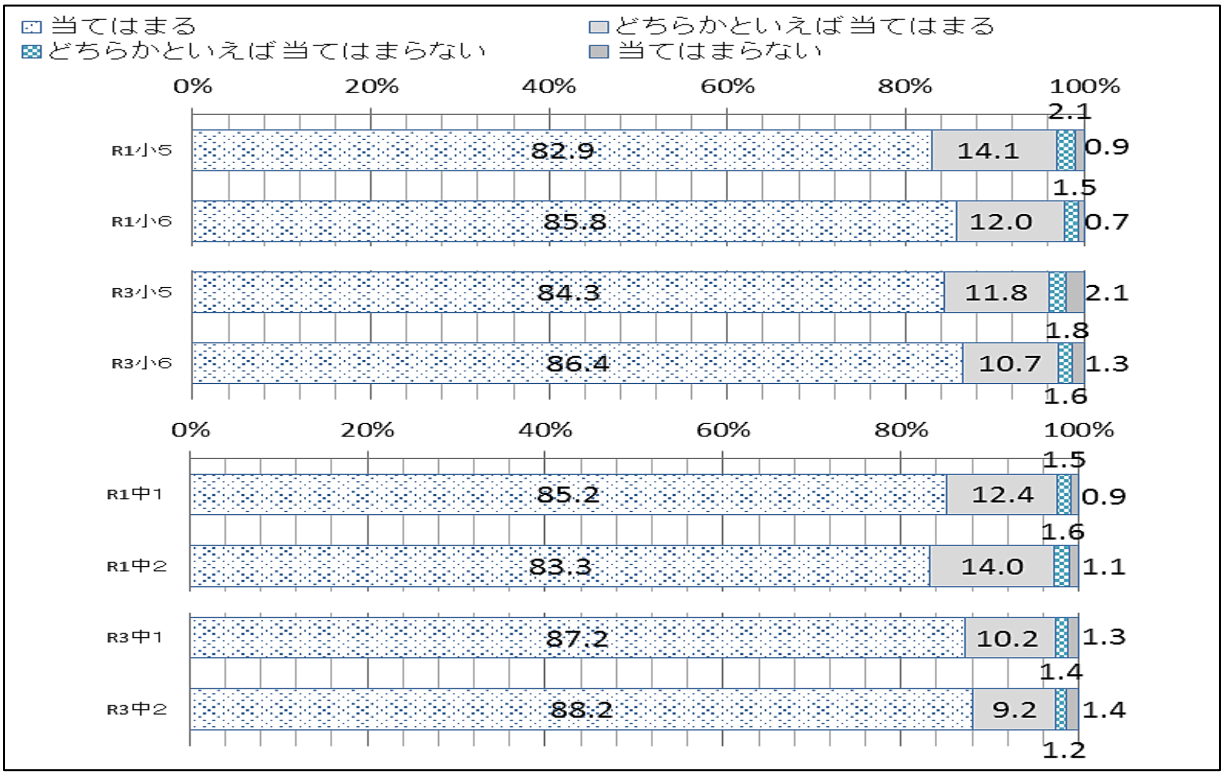
〘子どもの意識〙

【質問１】いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

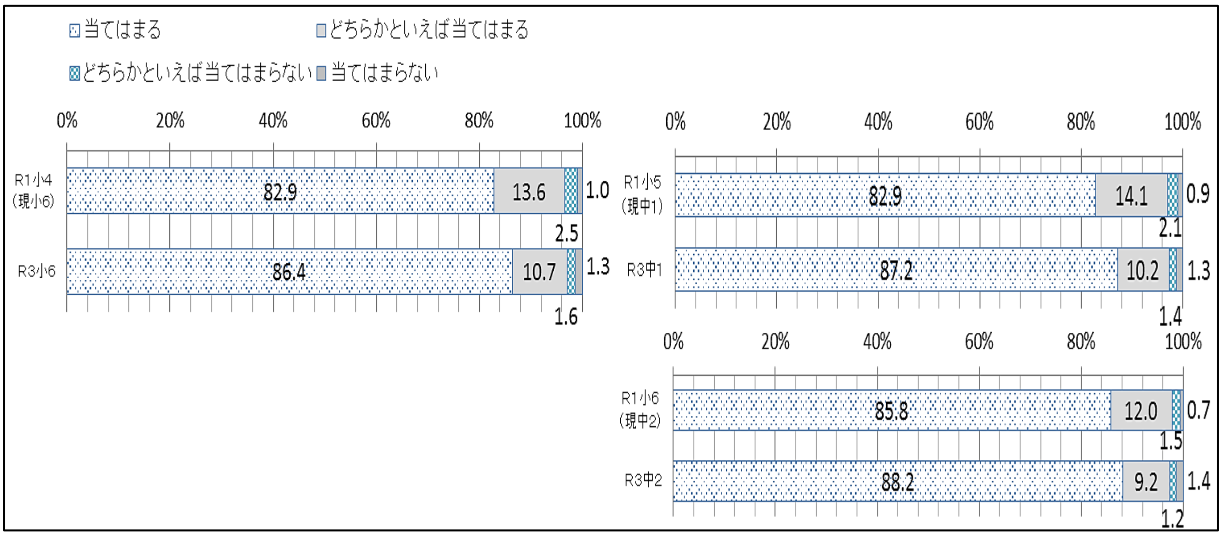
○　肯定的な回答の割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、全ての学年で 95%を上回っている。

○　「当てはまる」と回答した割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、全ての学年で増加している。

【令和元年度調査との比較】



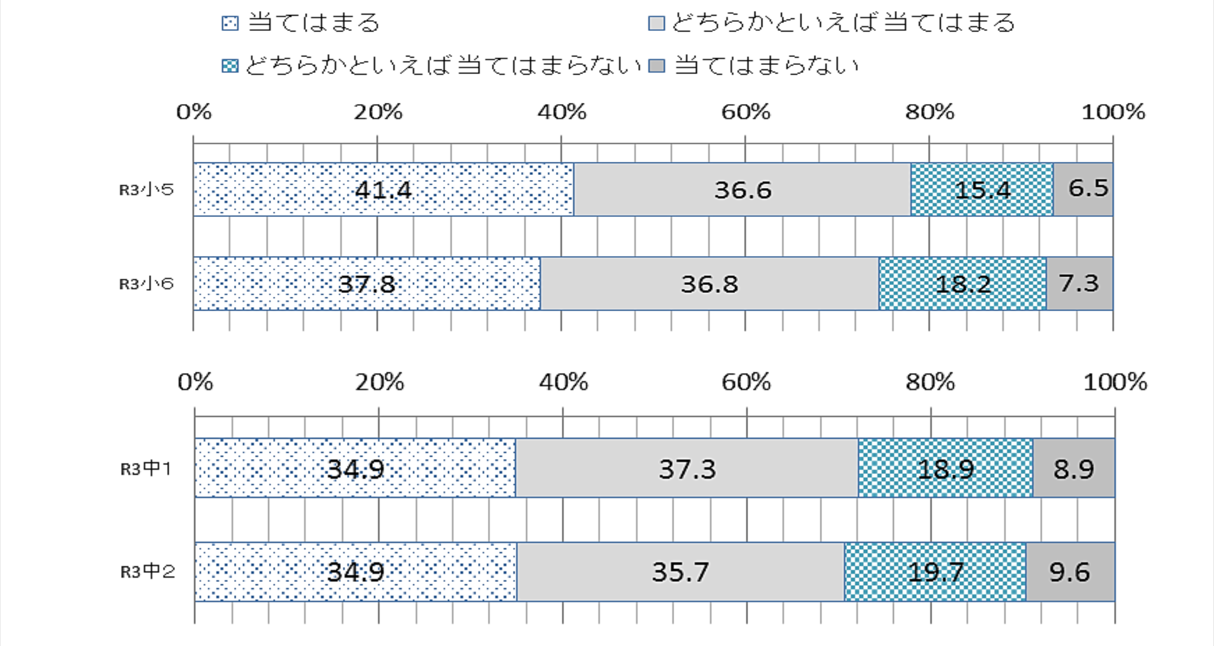
【同一の児童生徒集団で比較】



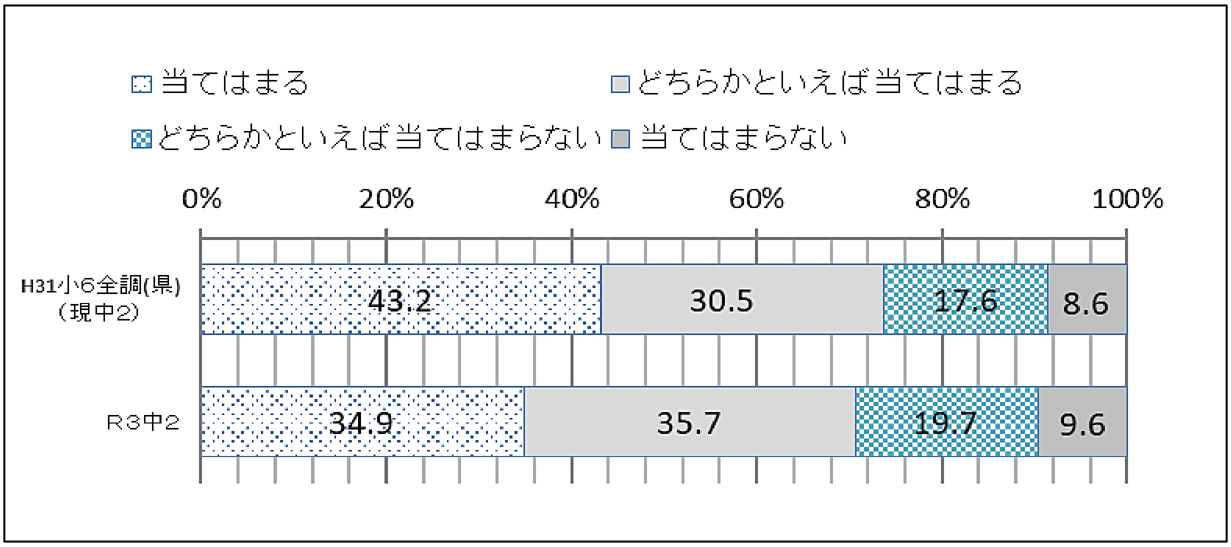
【質問２】読書は好きですか。

- 学年が上がるにつれ、肯定的な回答の割合が減少している。
- 中学２年生において、肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較すると減少している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童生徒集団で比較】（全国学力・学習状況調査との比較）



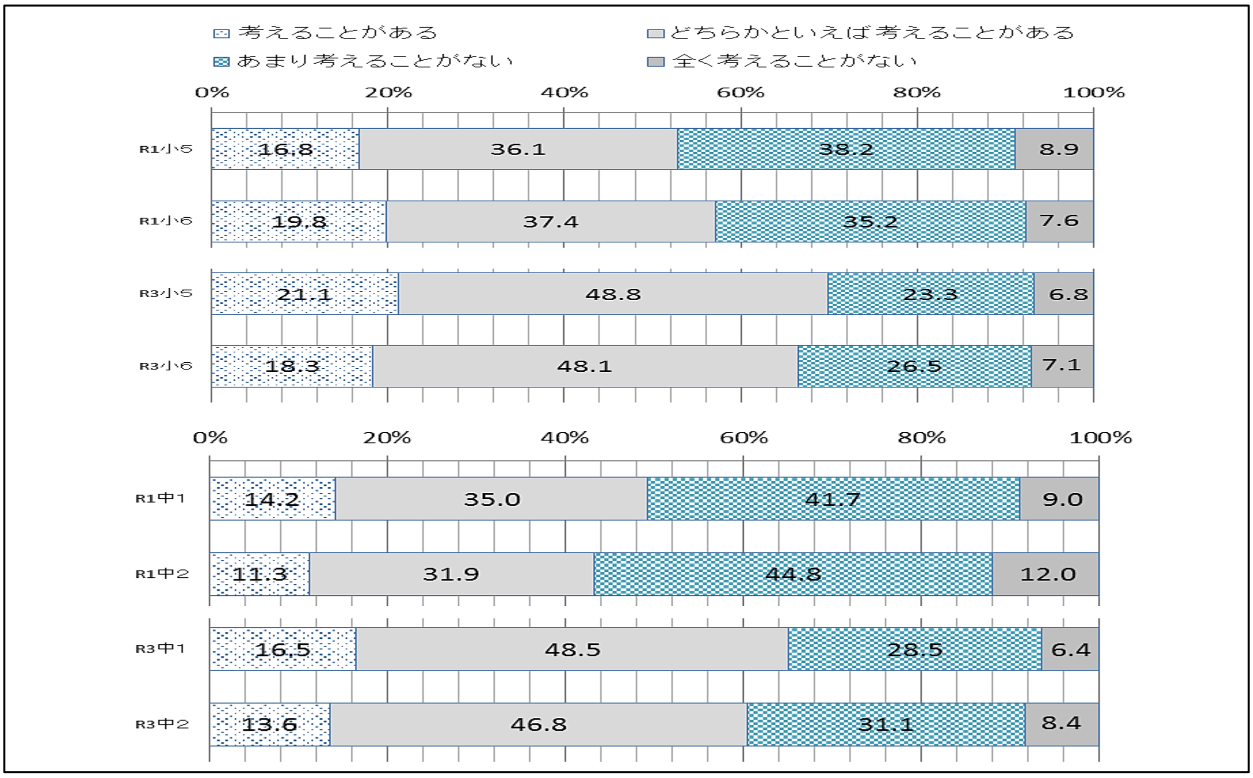
〖社会に開かれた教育課程の実現〗

【質問３】地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

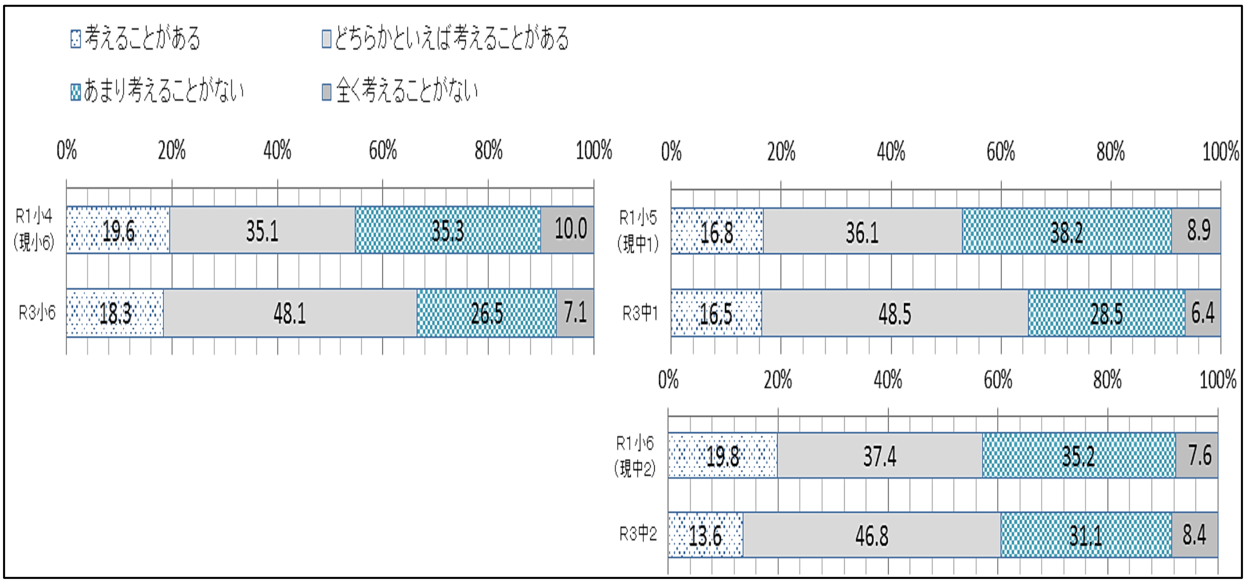
○　肯定的な回答の割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、全ての学年で増加している。

○　肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較しても、全ての学年で増加している。

【令和元年度調査との比較】



【同一の児童生徒集団で比較】

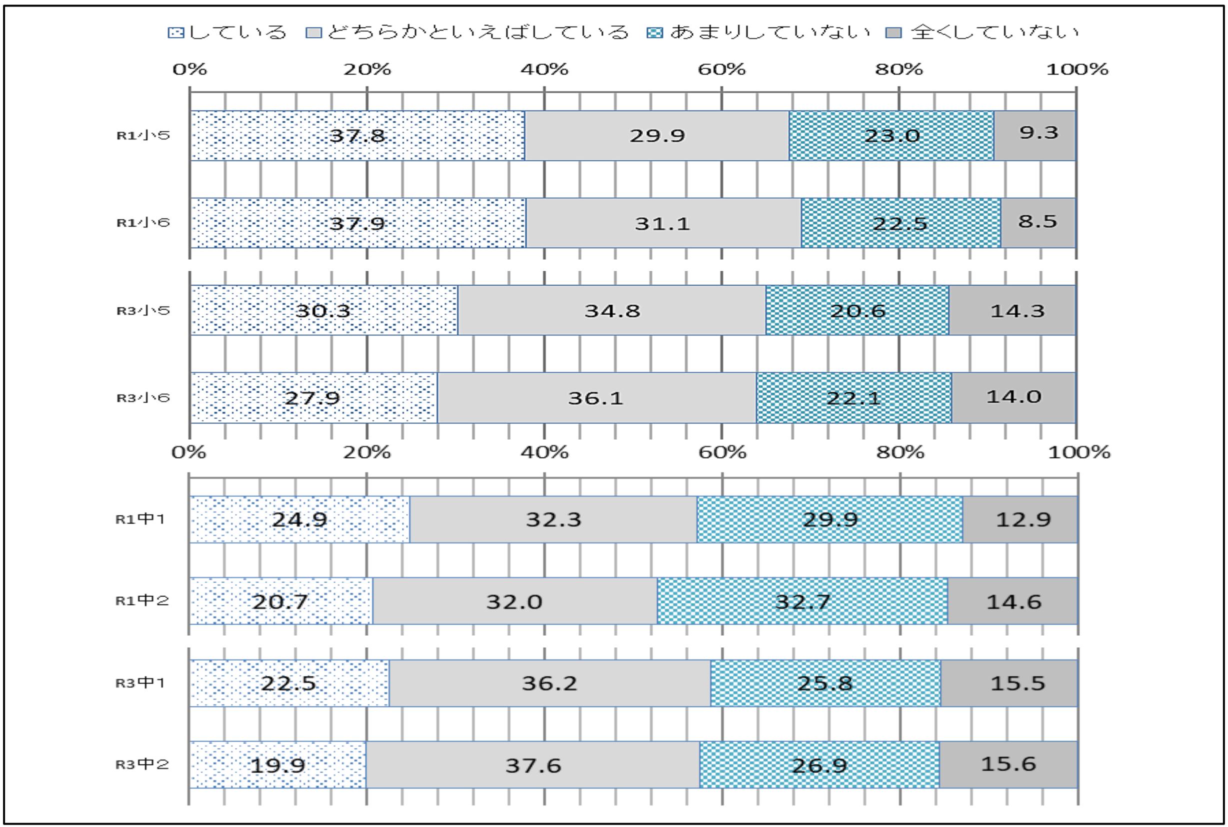


【質問４】今住んでいる地域の行事に参加していますか。

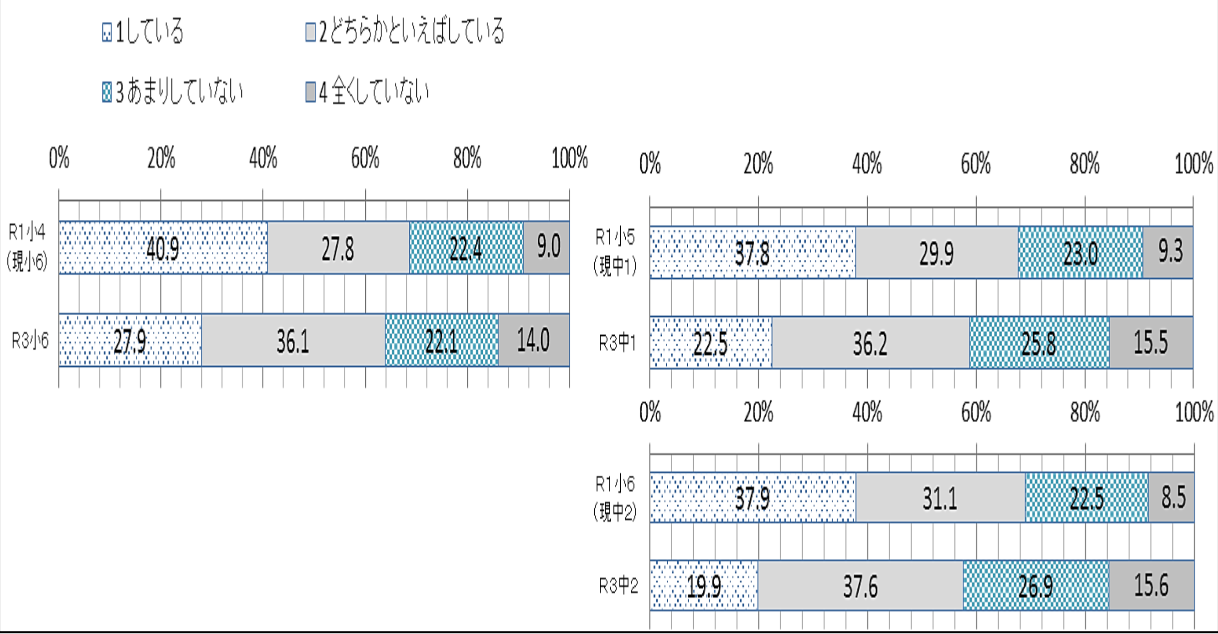
△　肯定的な回答の割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、小学５・６年生では減少しているが、中学１・２年生では増加している。

●　肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、全ての学年で減少している。

【令和元年度調査との比較】



【同一の児童生徒集団で比較】



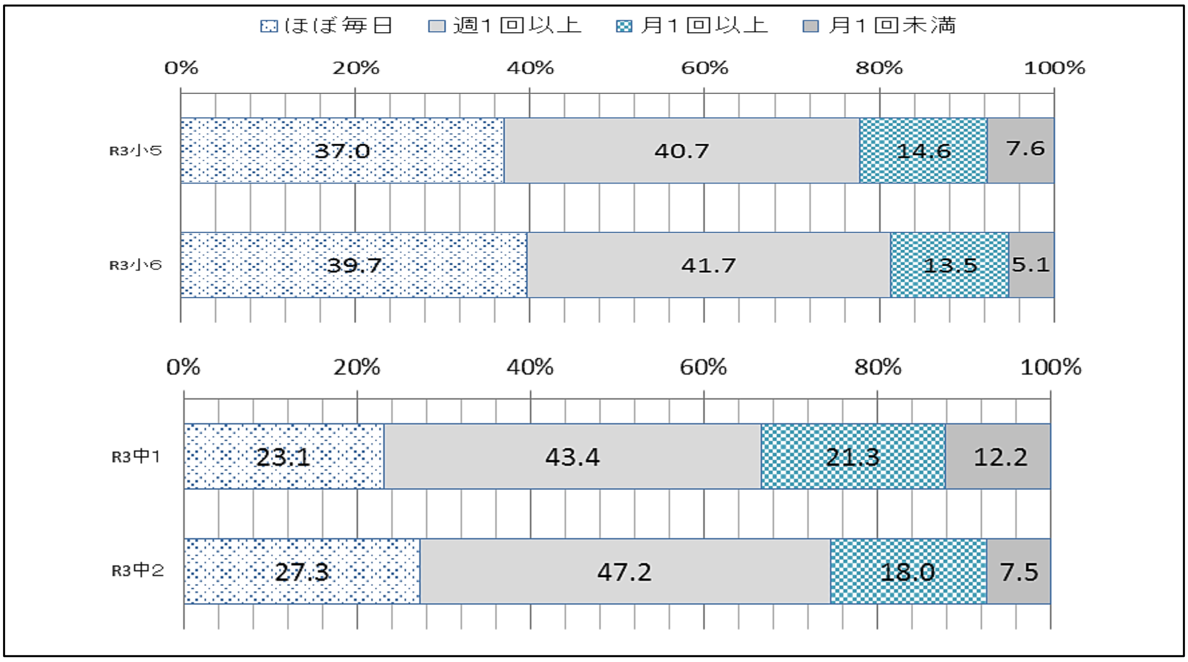
〚ＩＣＴ活用〛

【質問５】あなたは学校で、コンピューターなどのＩＣＴ機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。

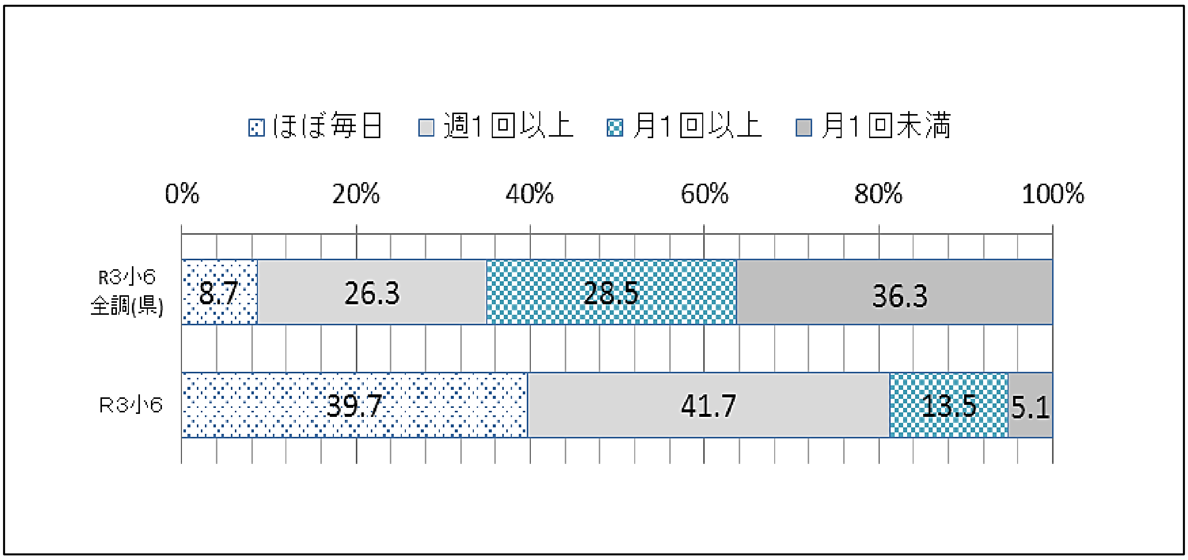
△　「ほぼ毎日」と回答した割合は、小学５・６年生では 40%、中学１・２年生は 30%を下回っている。

○　「ほぼ毎日」と回答した割合を、同一の児童集団で比較すると、大幅に増加している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童集団で比較】（全国学力・学習状況調査との比較）

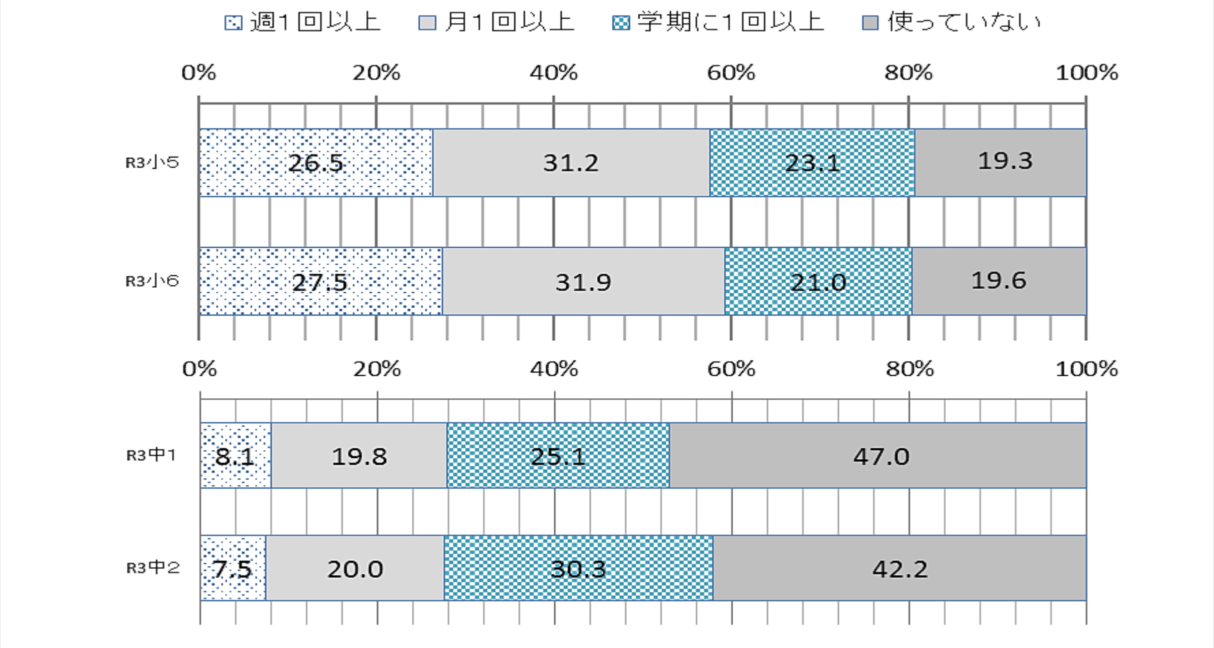


〖学習支援プログラムの活用〗

【質問６】やまぐちっ子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。

● 「週１回以上」と回答した割合は、小学校で 30%、中学校で 10%を下回っている。

【今年度調査の結果】



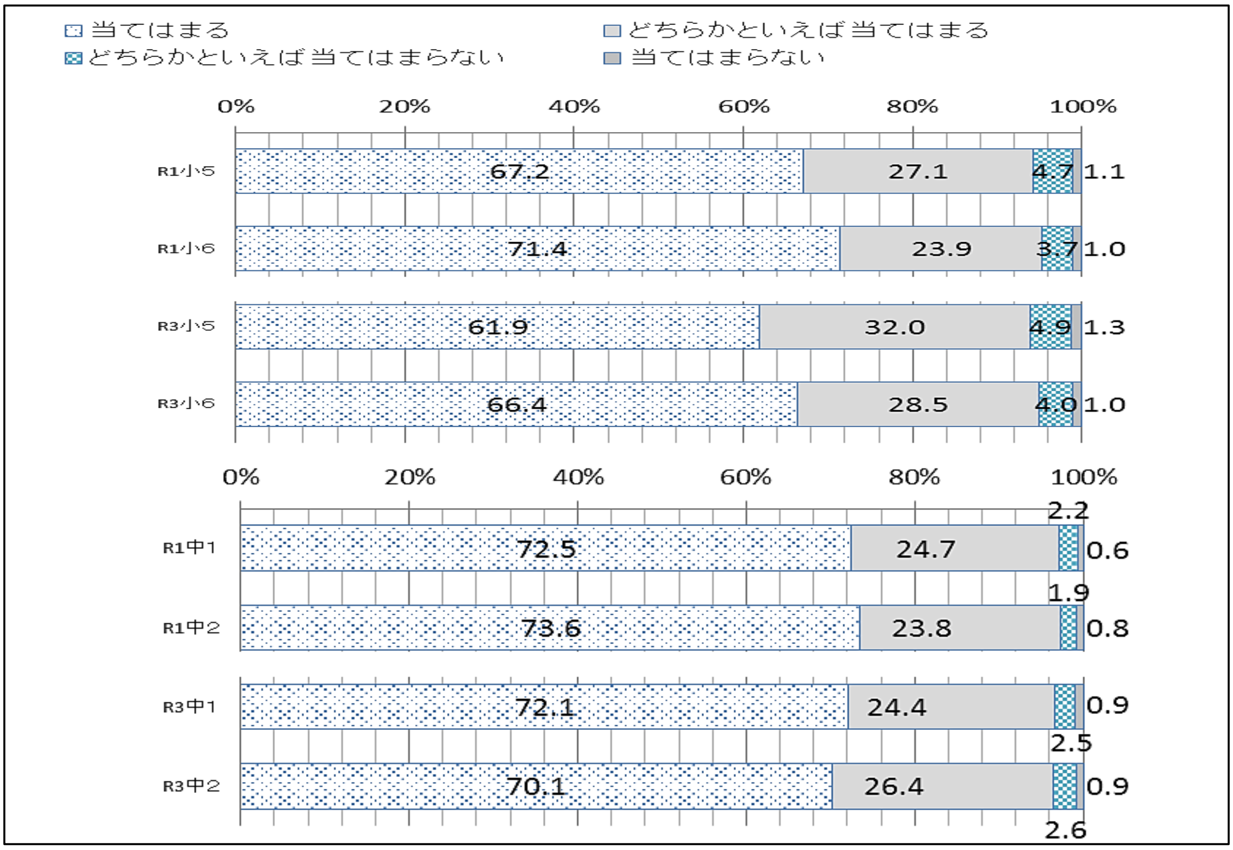
〖主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善〗

【質問７】授業の中で、授業の目標（めあて、ねらい）が示されていると思いますか。

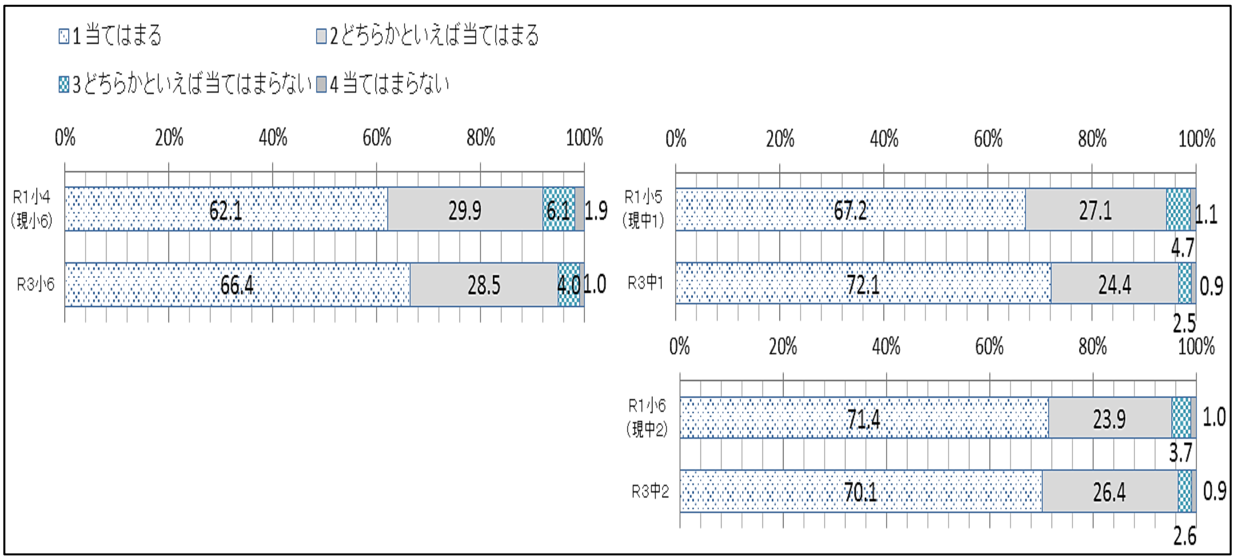
●　「当てはまる」と回答した割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、小学５・６年生・中学２年生で減少している。

△　「当てはまる」と回答した割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、中学２年生では大きな変化はないが、小学６年生・中学１年生で増加している。

【令和元年度調査との比較】



【同一の児童生徒集団で比較】

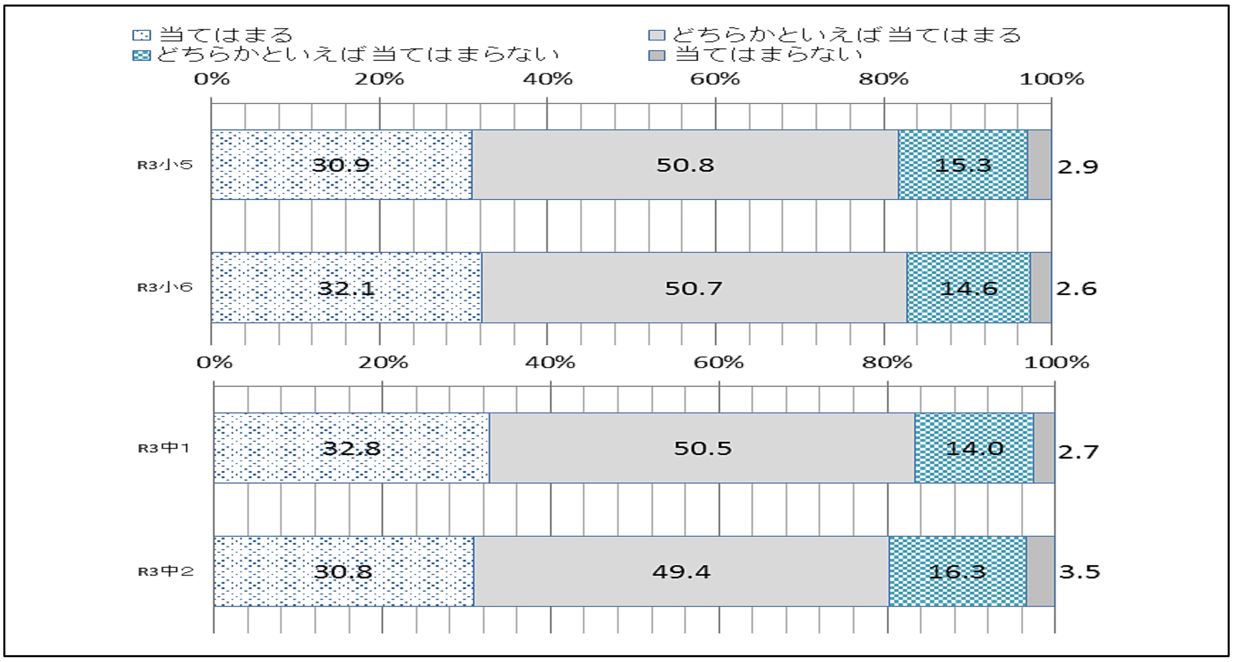


【質問８】学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う。

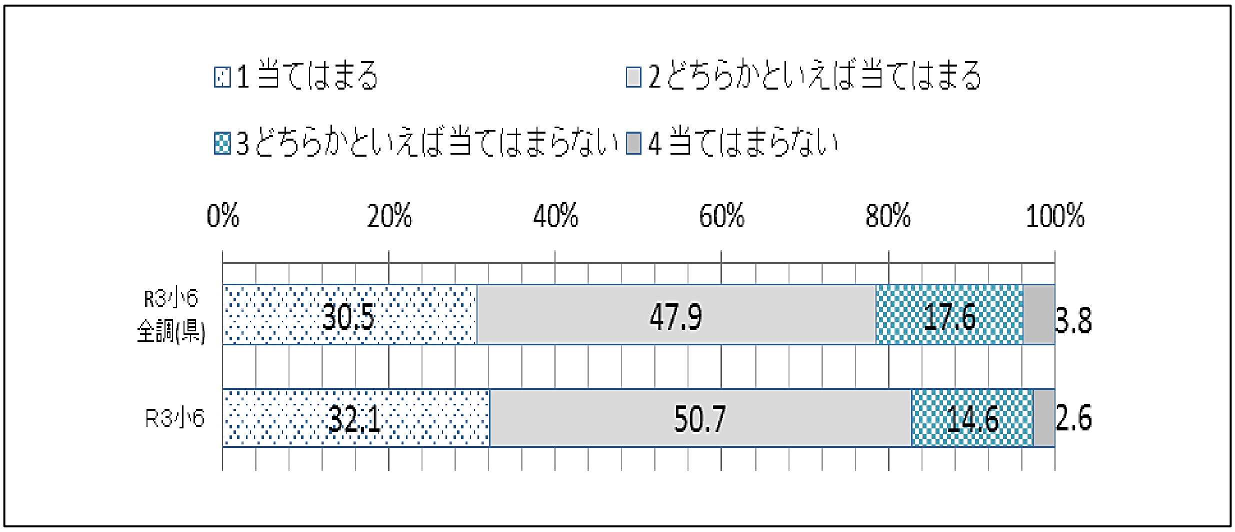
● 「当てはまる」と回答した割合は、約 30%にとどまっている。

○ 肯定的な回答の割合を、同一の児童集団で比較すると、増加している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童集団で比較】（全国学力・学習状況調査との比較）

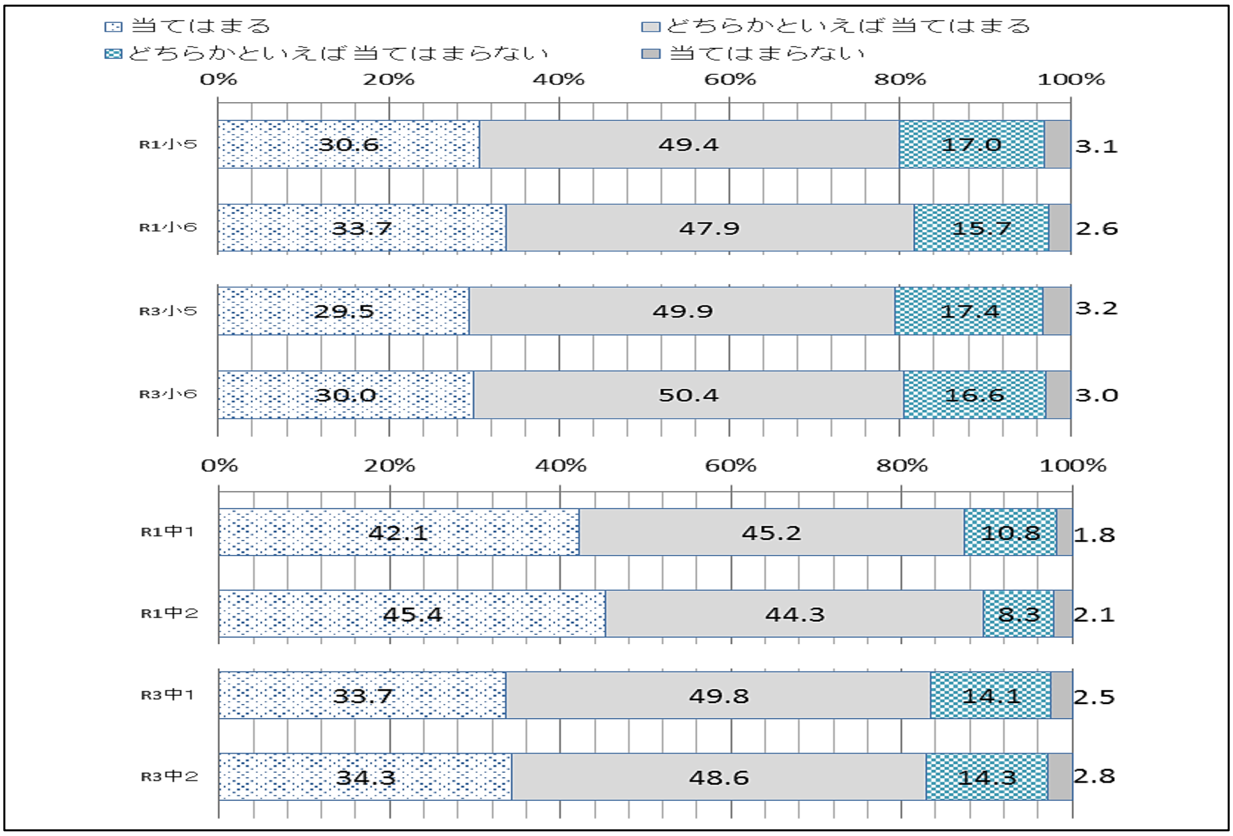


【質問９】授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。

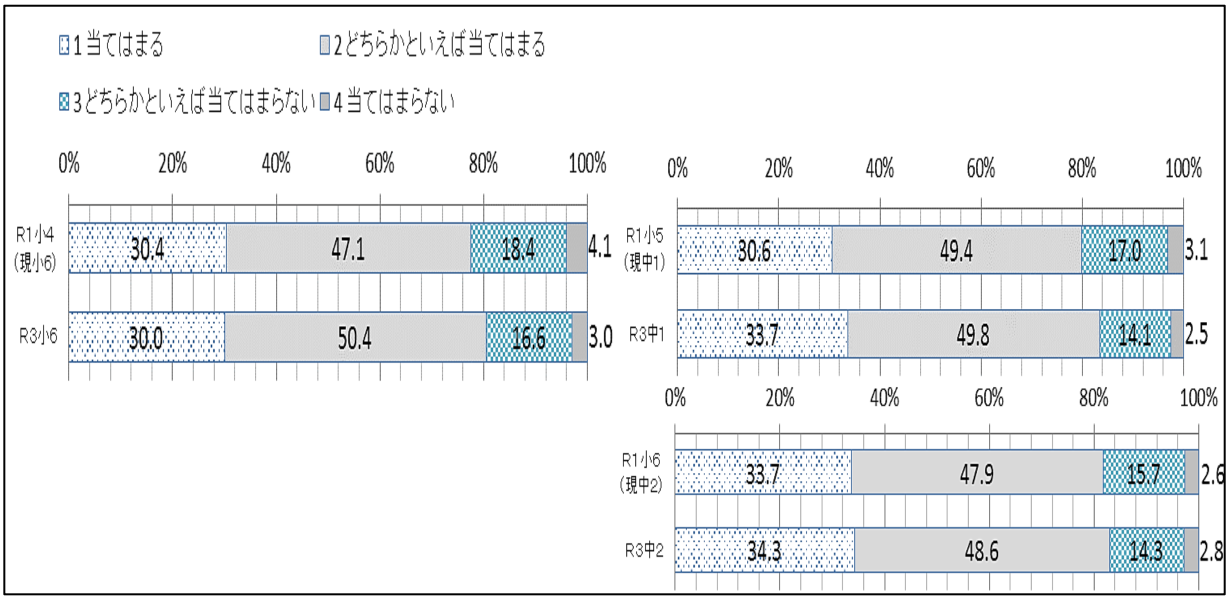
△　肯定的な回答の割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、小学校は大きな変化はないが、中学校は減少している。

○　肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、全ての学年で増加している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童生徒集団で比較】

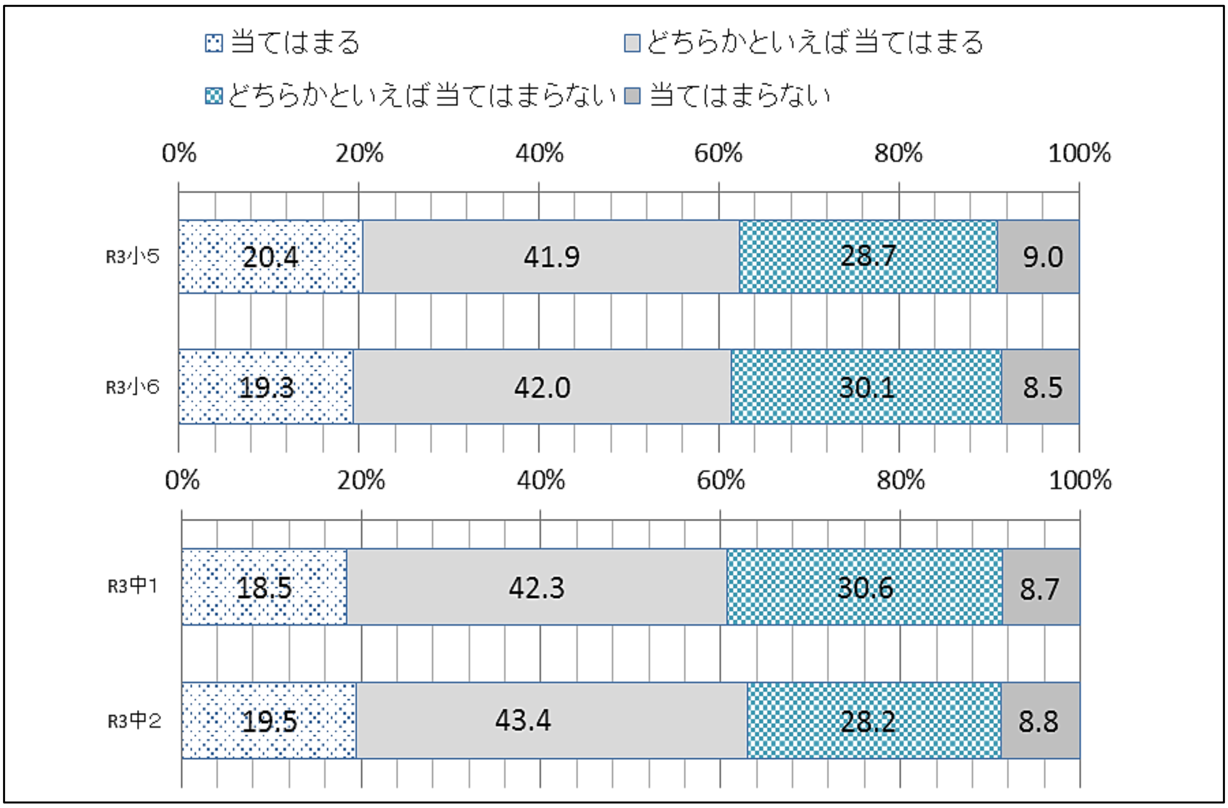


【質問１０】授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。

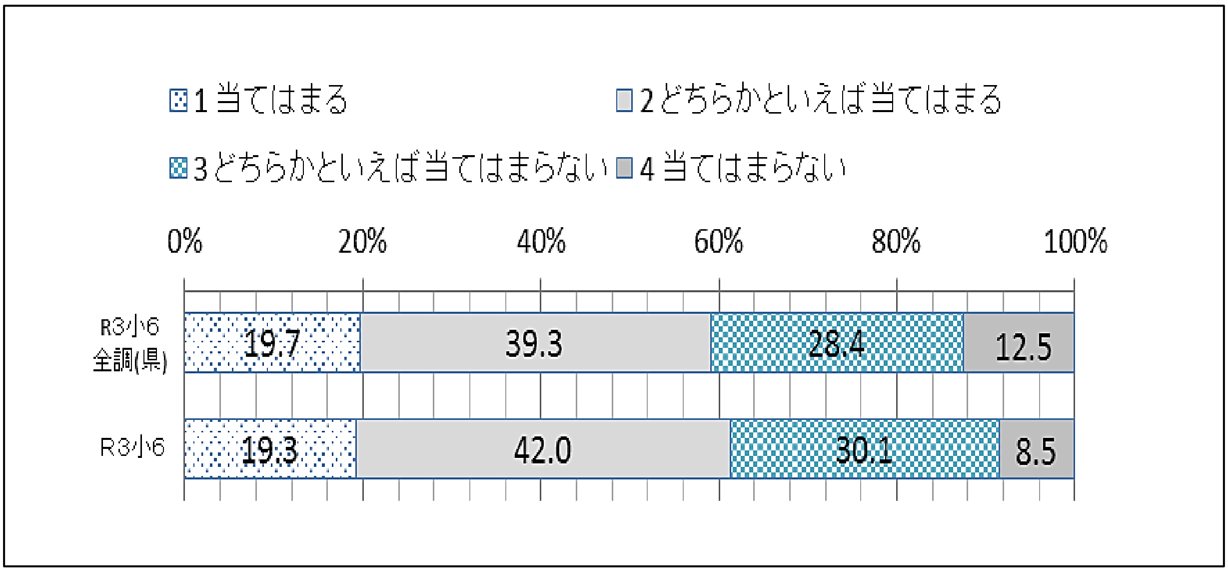
●　肯定的な回答の割合は、全ての学年で 60%台にとどまっている。

○　肯定的な回答の割合を、同一児童集団で比較すると、増加している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童集団で比較】（全国学力・学習状況調査との比較）

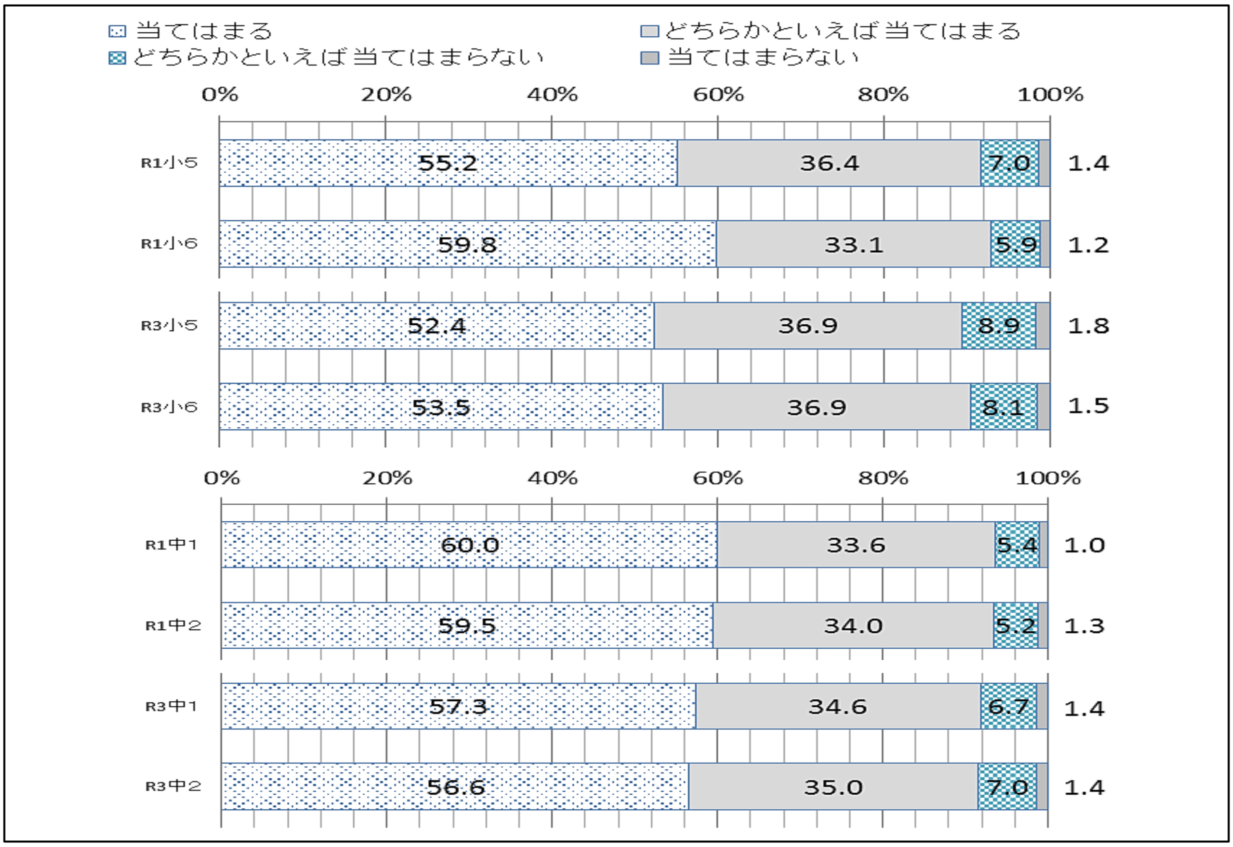


【質問１１】授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う。

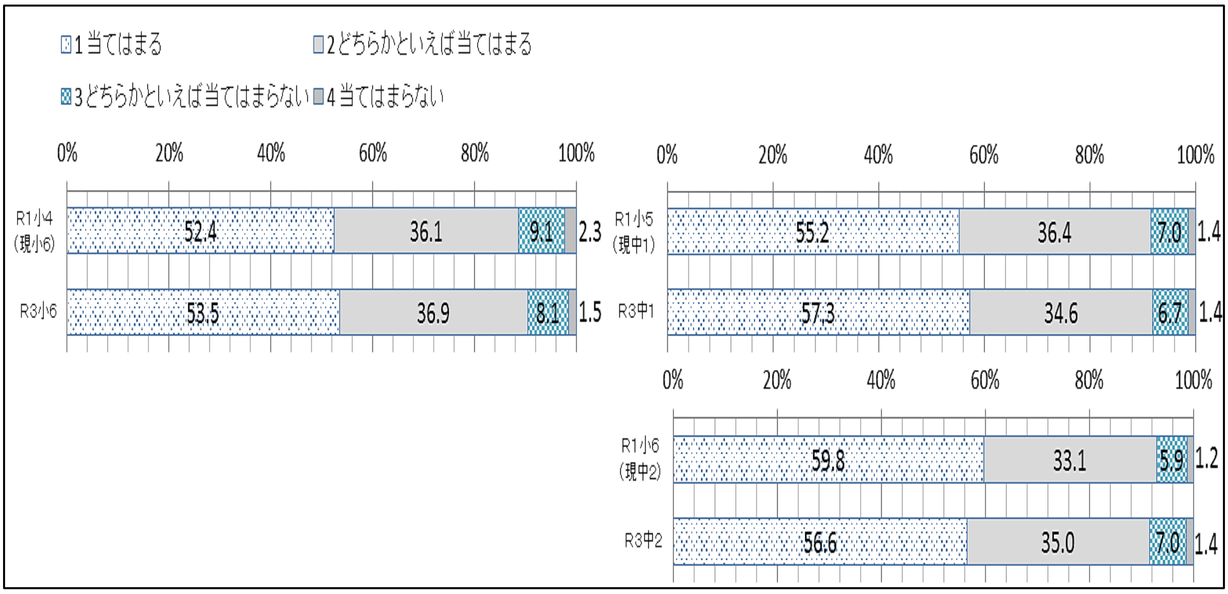
△　肯定的な回答の割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、小学校で減少しているが、中学校では大きな変化はない。

○　肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、全ての学年で大きな変化はない。

【令和元年度調査との比較】



【同一の児童生徒集団で比較】

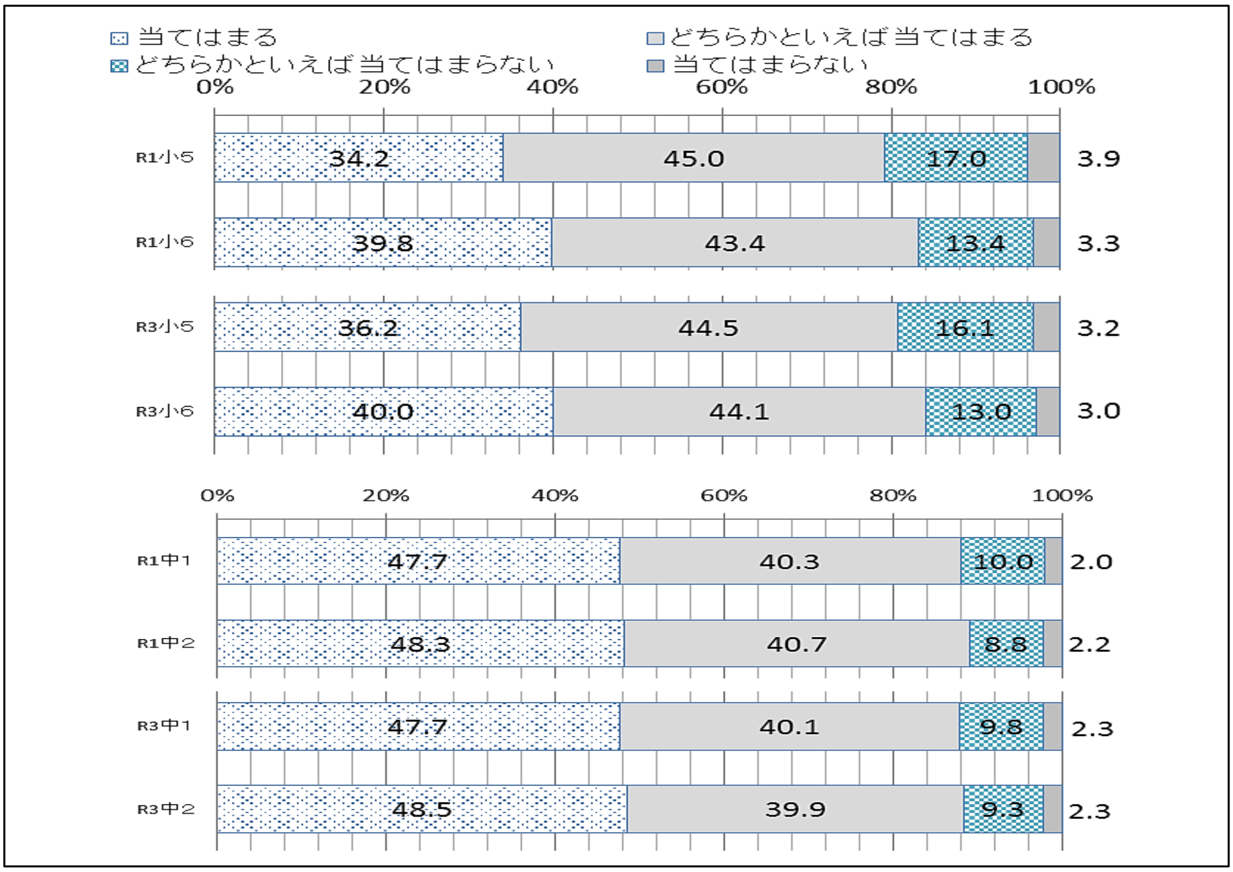


【質問１２】学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。

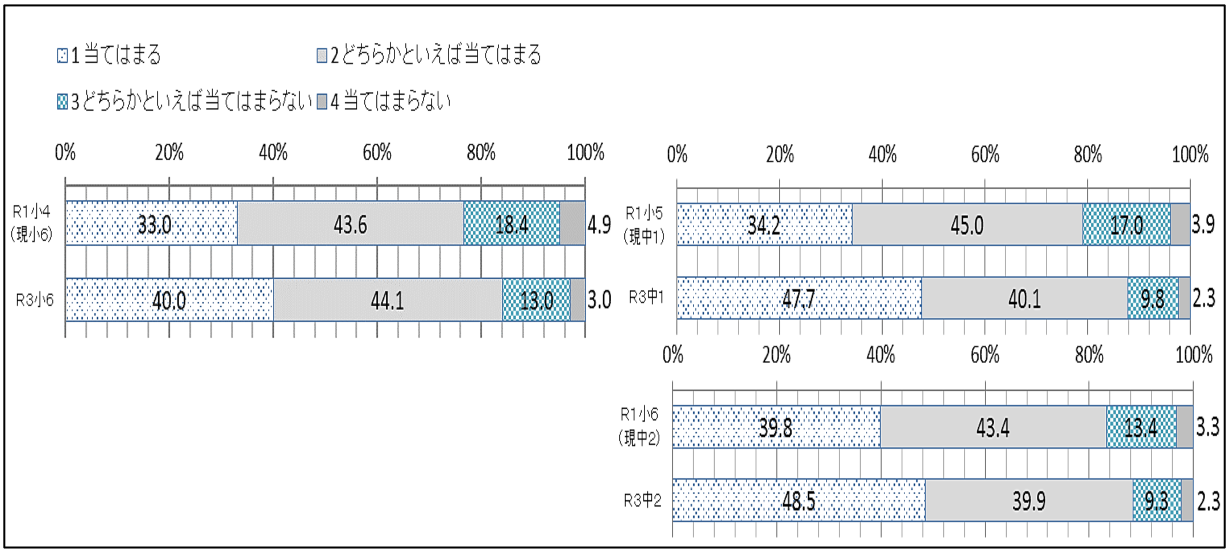
△　肯定的な回答の割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、小・中学校とも、大きな変化はない。

○　肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、全ての学年で増加している。

【令和元年度調査との比較】



【同一の児童生徒集団で比較】

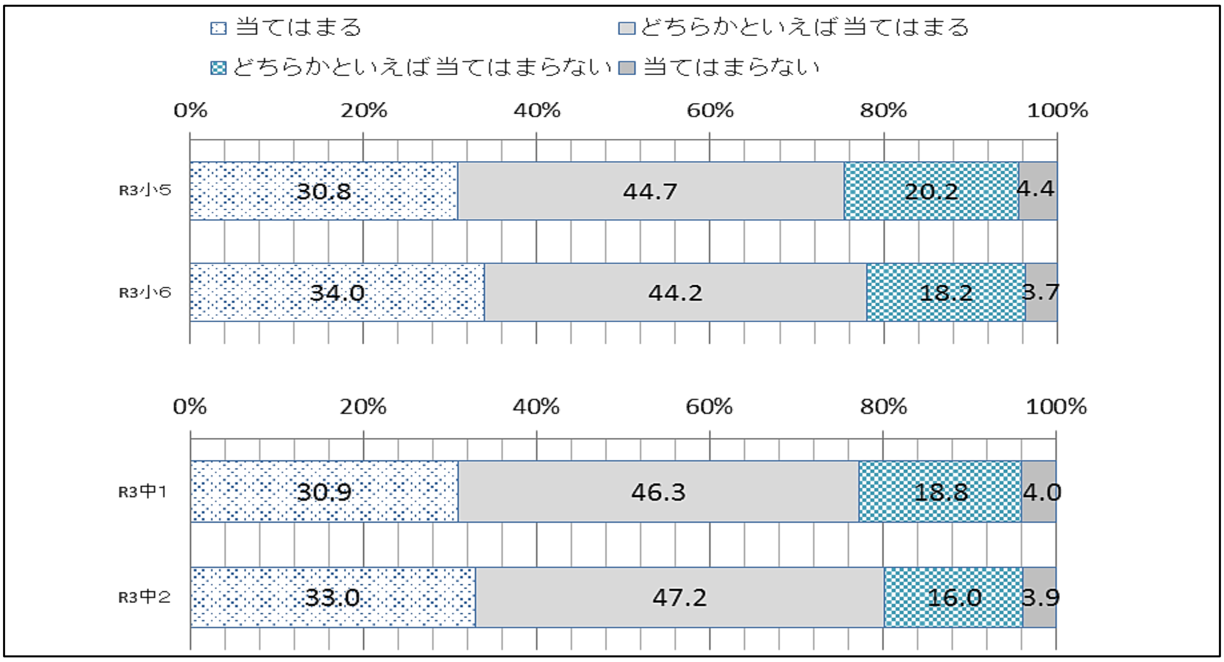


【質問１３】総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。

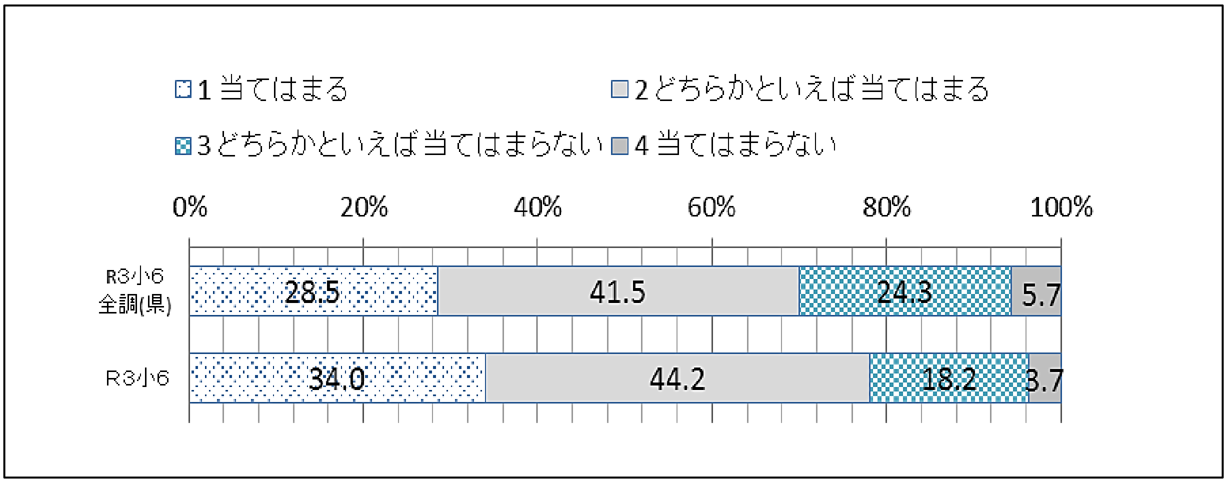
△　肯定的な回答の割合は、全ての学年で80%程度にとどまっている。

○　小学６年生において「当てはまる」と回答した割合を、同一の児童集団で比較すると、増加している。

【今年度調査の結果】



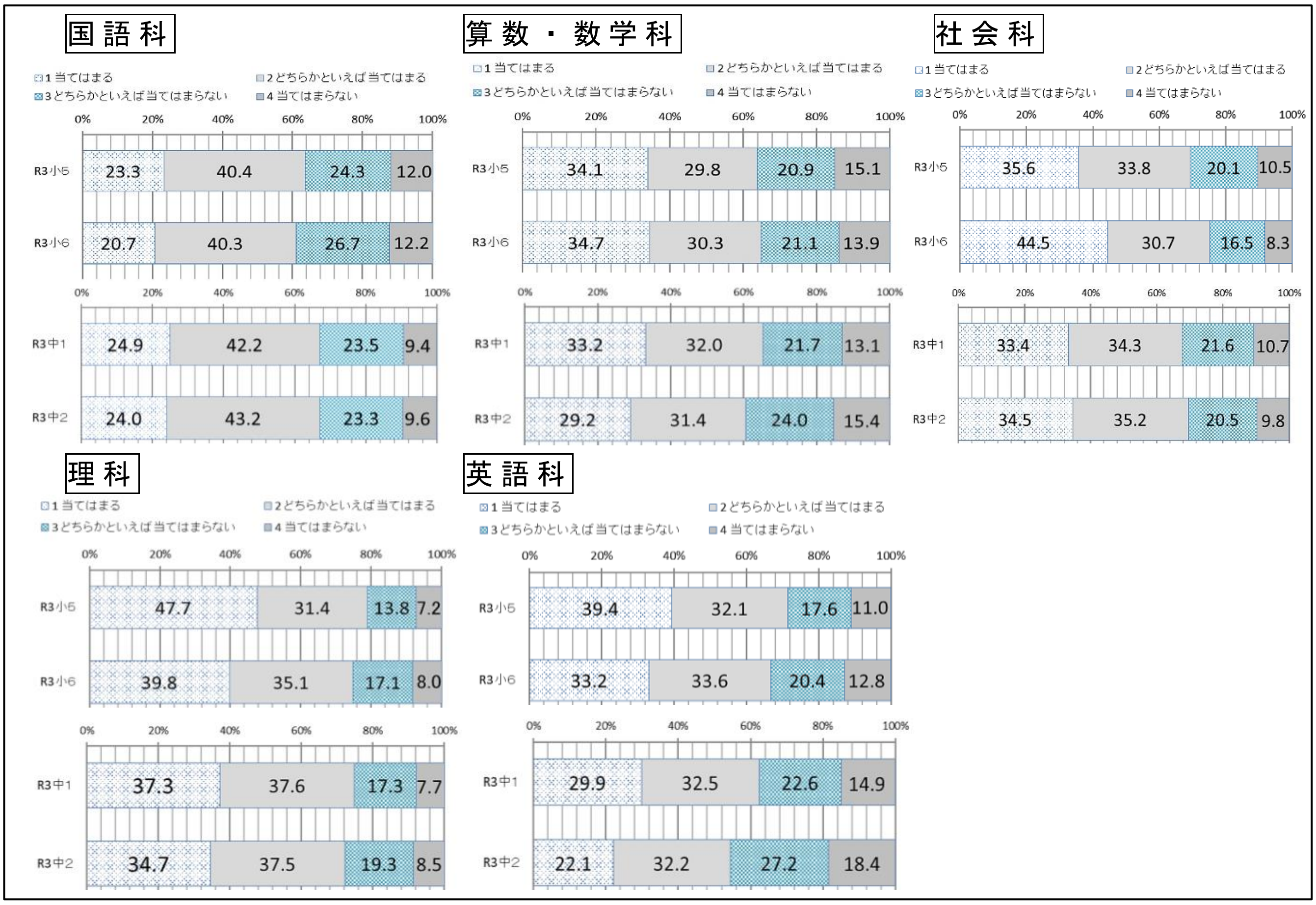
【同一の児童集団で比較】（全国学力・学習状況調査との比較）



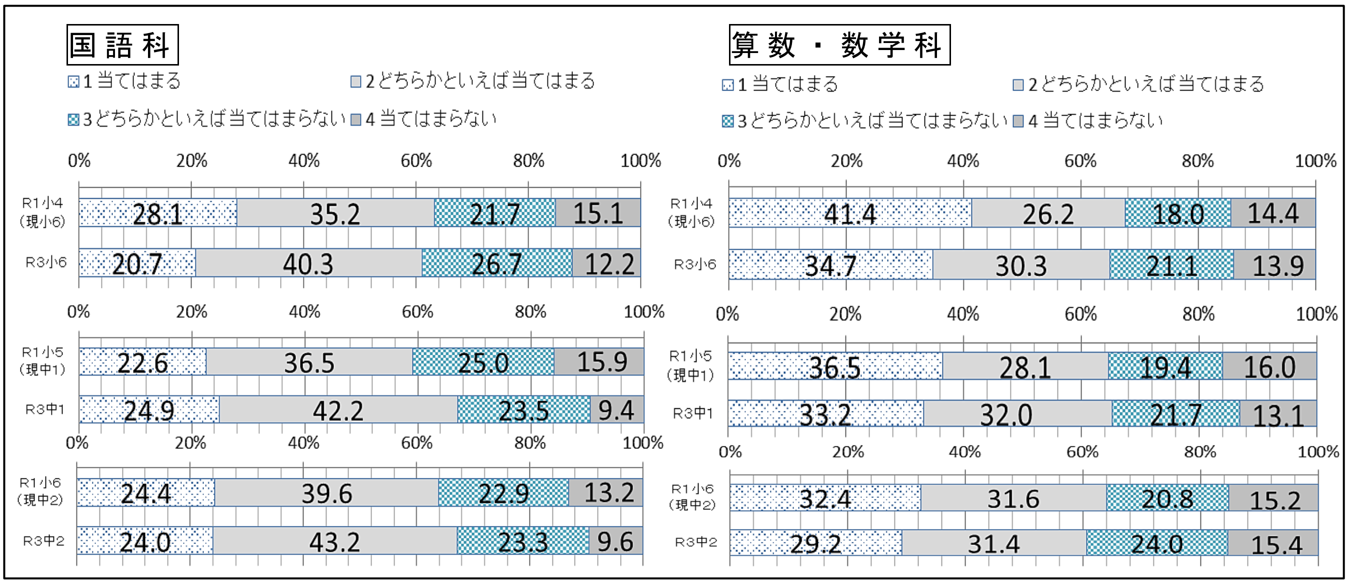
【質問１４～１８】各教科の勉強が好きだ。

- 理科、英語科において、学年が上がるにつれ、肯定的な回答の割合が減少している。
- 国語科、算数・数学科においては、同一の学年集団で比較すると、中学１年生の国語科を除き、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が前年度から減少している。

【今年度調査の結果】



【同一の学年集団で比較】



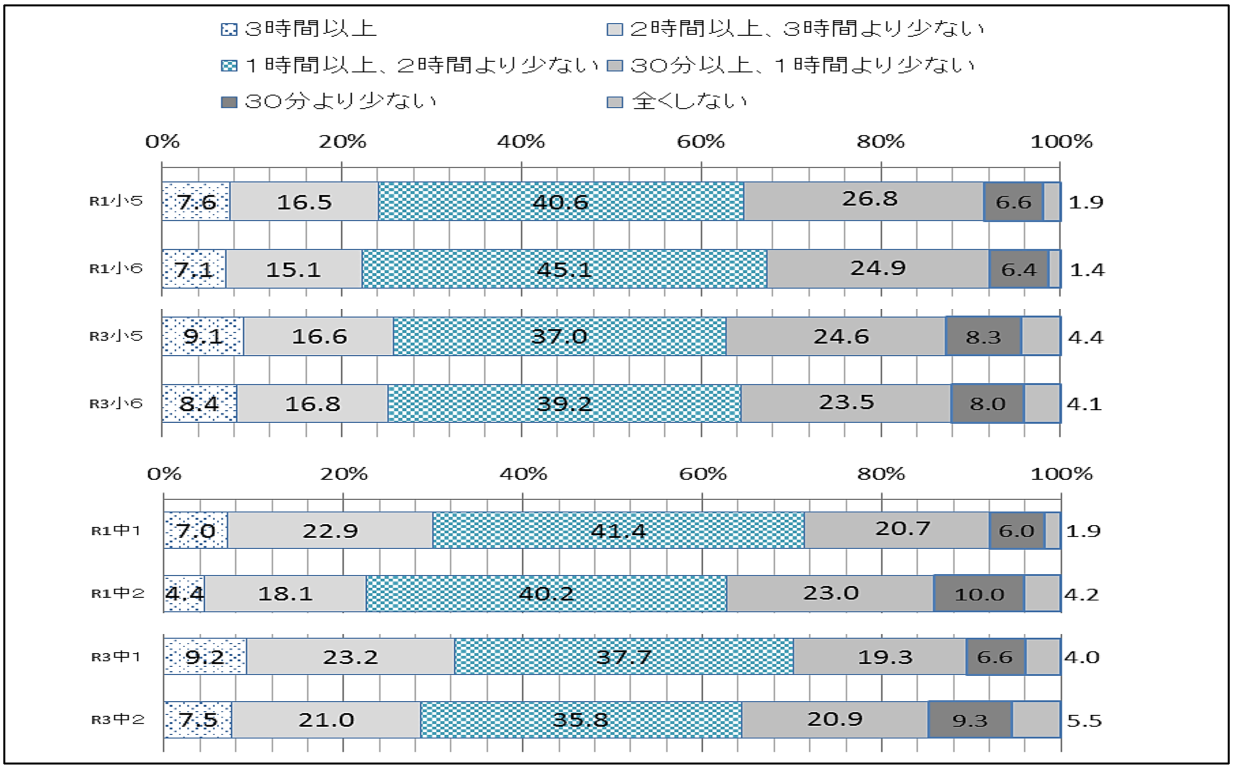
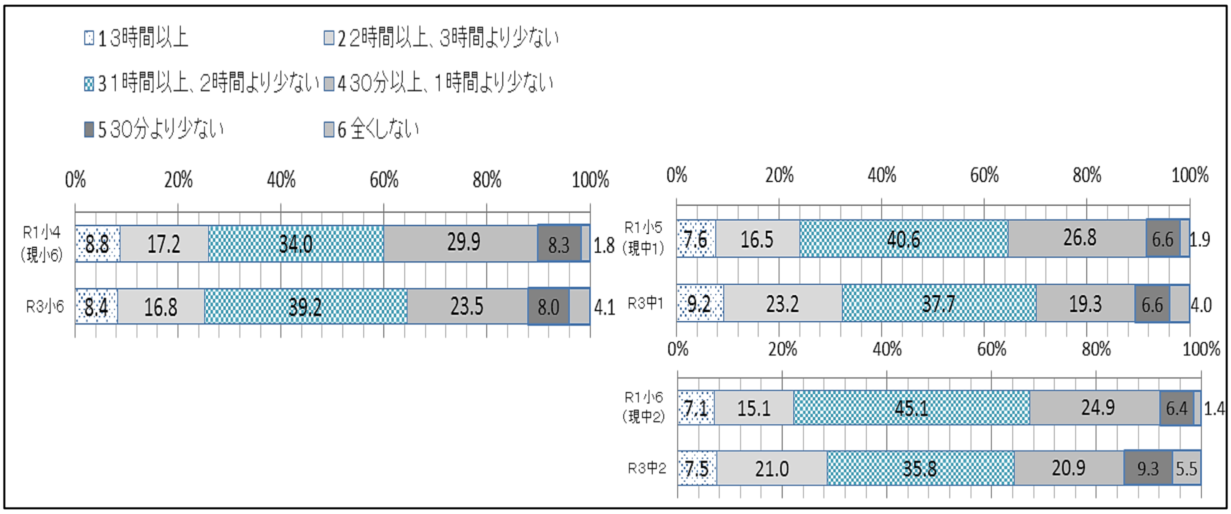
〖家庭学習の習慣〗

【質問１９】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます。）

○　「２時間以上」と回答した割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、全ての学年で増加している。

△　「２時間以上」と回答した割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、小学６年生では大きな変化がないが、中学１・２年生では増加している。

【令和元年度調査との比較】



【同一の児童生徒集団で比較】